

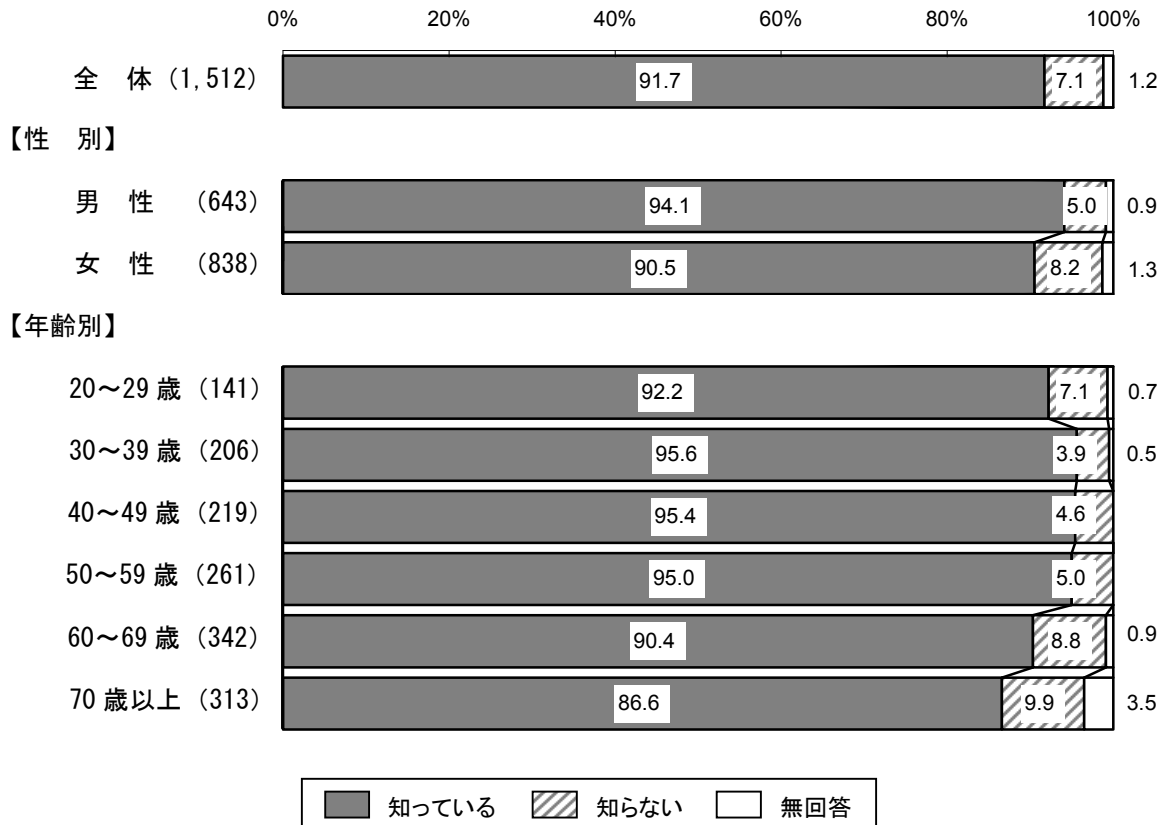
II 調查結果

1 人権問題について

(1) 基本的人権についての周知度

問1 あなたは、法の下での平等、自由権、社会権（生存権、教育を受ける権利、労働の権利等）等の基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか。（✓は1つ）

図1 基本的人権についての周知度



基本的人権についての周知度は9割

基本的人権についての周知度は、「知っている」と回答した人の割合が91.7%と9割を超えている。年齢別では、「知っている」と回答した人の割合が、70歳以上をのぞくすべての年齢層で9割を超えている。

【参考】 全国調査（平成19年6月 内閣府 人権擁護に関する世論調査）

<基本的人権についての周知度>

問1 あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか。

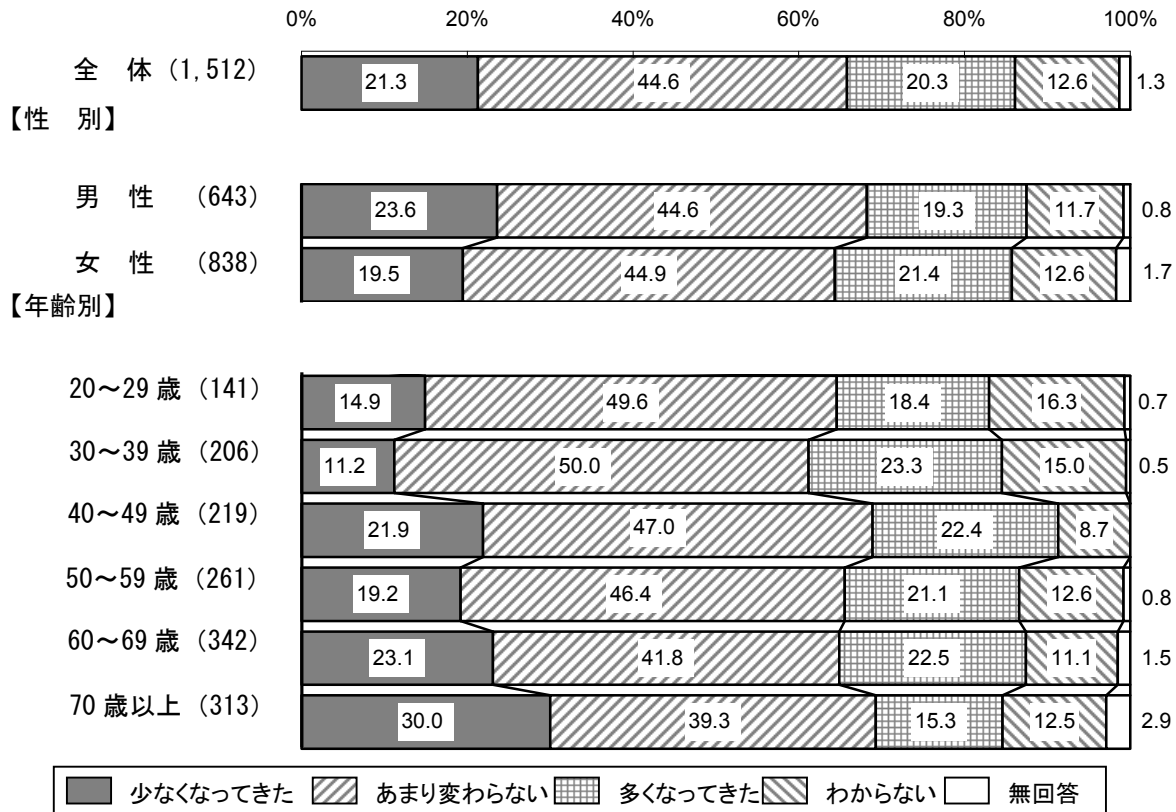
全国 (1,766)	知っている (%)	知らない (%)
	77.8	22.2

知っている
 知らない

(2) 人権侵害の推移

問2 新聞やテレビなどで「人権問題」とか「人権が侵害された」というニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5年の間に、日本で人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。(✓は1つ)

図2 人権侵害の推移



人権侵害の推移はあまり変わらないと思っている人が4割

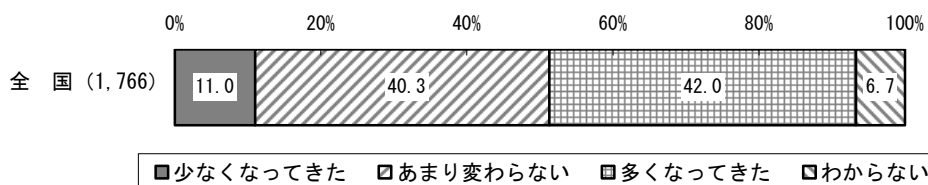
人権侵害の推移について、「あまり変わらない」と回答した人の割合が44.6%と最も高く、次いで「少なくなってきた」(21.3%)、「多くなってきた」(20.3%)、「わからない」(12.6%)の順となっている。

年齢別では、「少なくなってきた」と回答した人の割合が20～29歳で14.9%、30～39歳で11.2%とそれぞれ低く、70歳以上では30.0%と高くなっている。

【参考】全国調査(平成19年6月 内閣府 人権擁護に関する世論調査)

<人権侵害の推移>

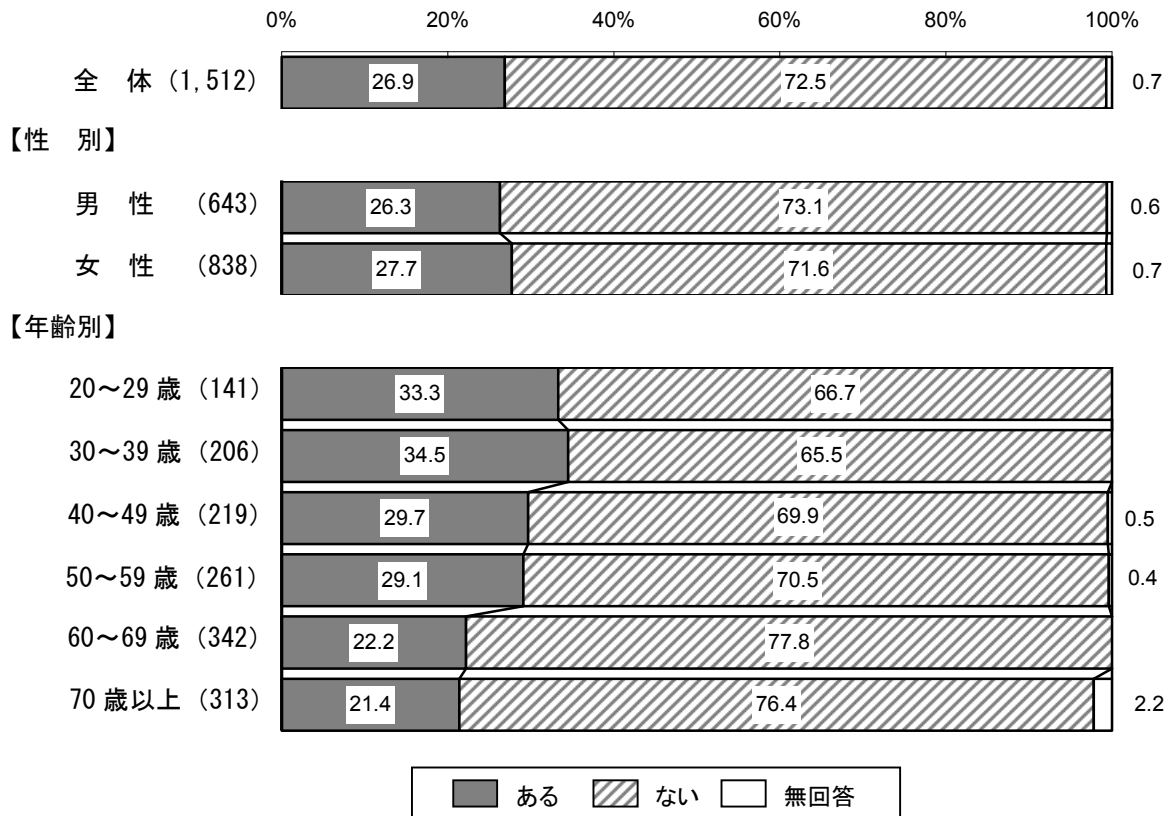
問2 新聞やテレビなどで「人権問題」とか「人権が侵害された」というニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。この中ではどうでしょうか。



(3)人権侵害の経験

問3 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか、それともそういうことはありませんか。(✓は1つ)

図3 人権侵害の経験



人権が侵害されたと思ったことがある人の割合は3割

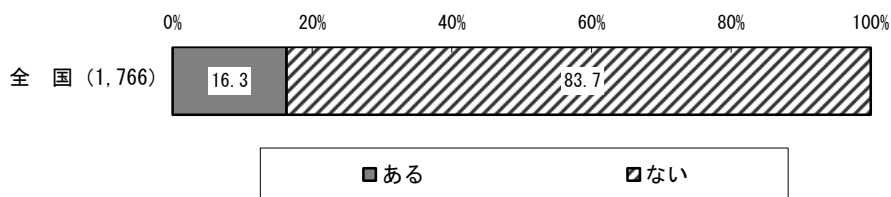
人権侵害の経験について、「ない」と回答した人の割合が72.5%となっているものの、「ある」と回答した人は26.9%となっている。

年齢別では、「ある」と回答した人の割合は、年齢が低くなるにつれて高くなる傾向にある。

【参考】全国調査（平成19年6月 内閣府 人権擁護に関する世論調査）

<人権侵害の経験>

問3 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか、それともそういうことはありませんか。



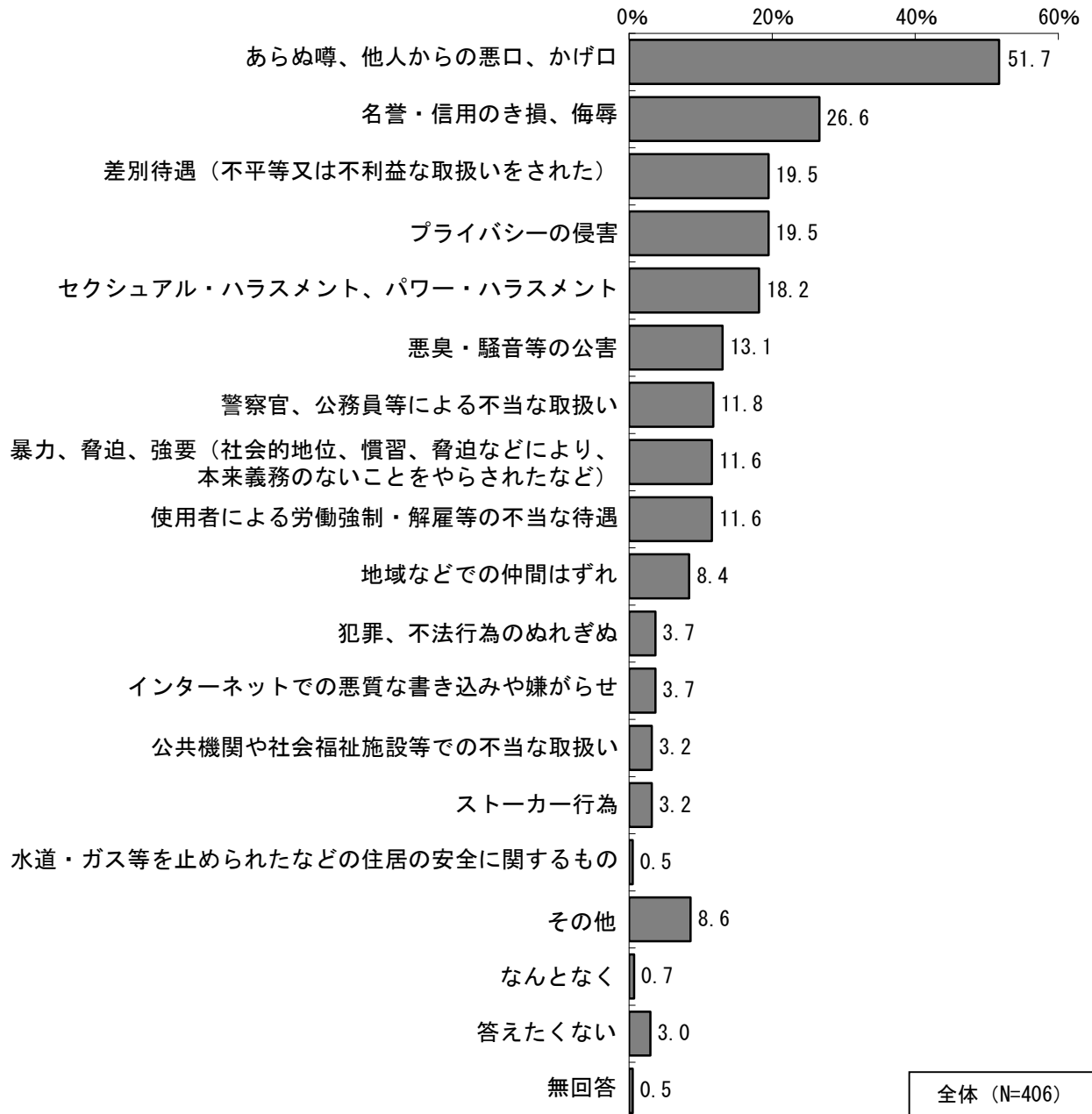
(4)人権侵害の内容

問3-1 【問3で「1 ある」を選んだ人のみ回答】

それは、どのような場合ですか。差し支えなければこの中からあげてください。

(✓はいくつでも)

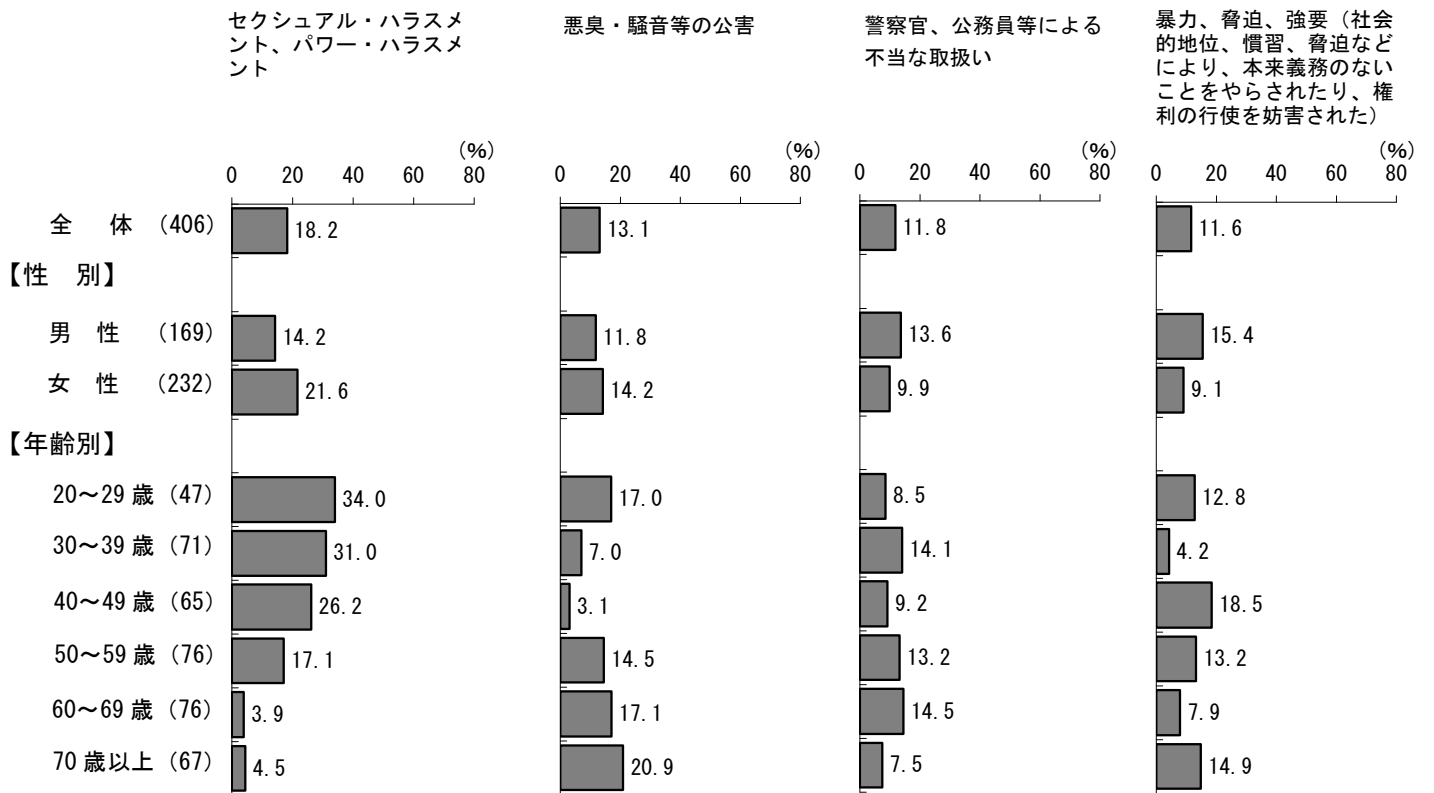
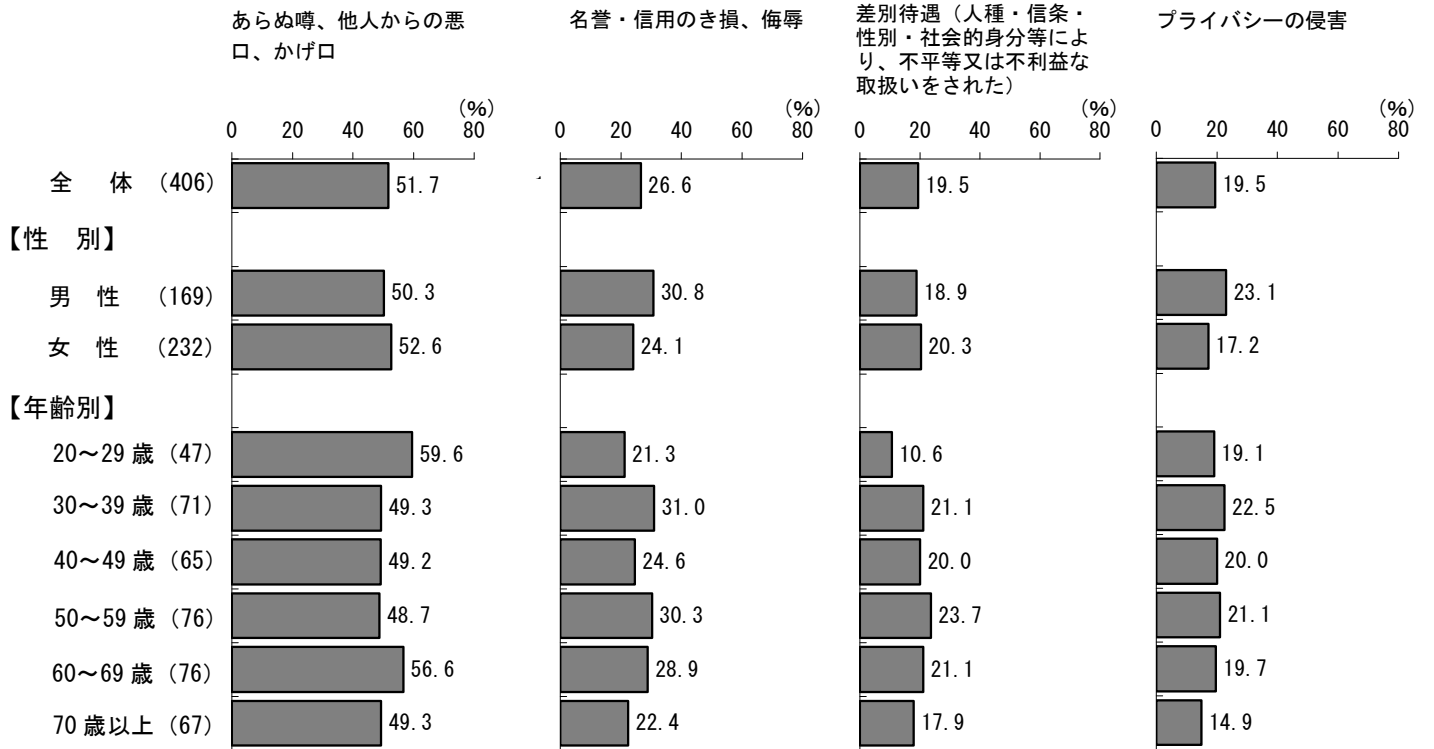
①図4-1 人権侵害の内容【全体】

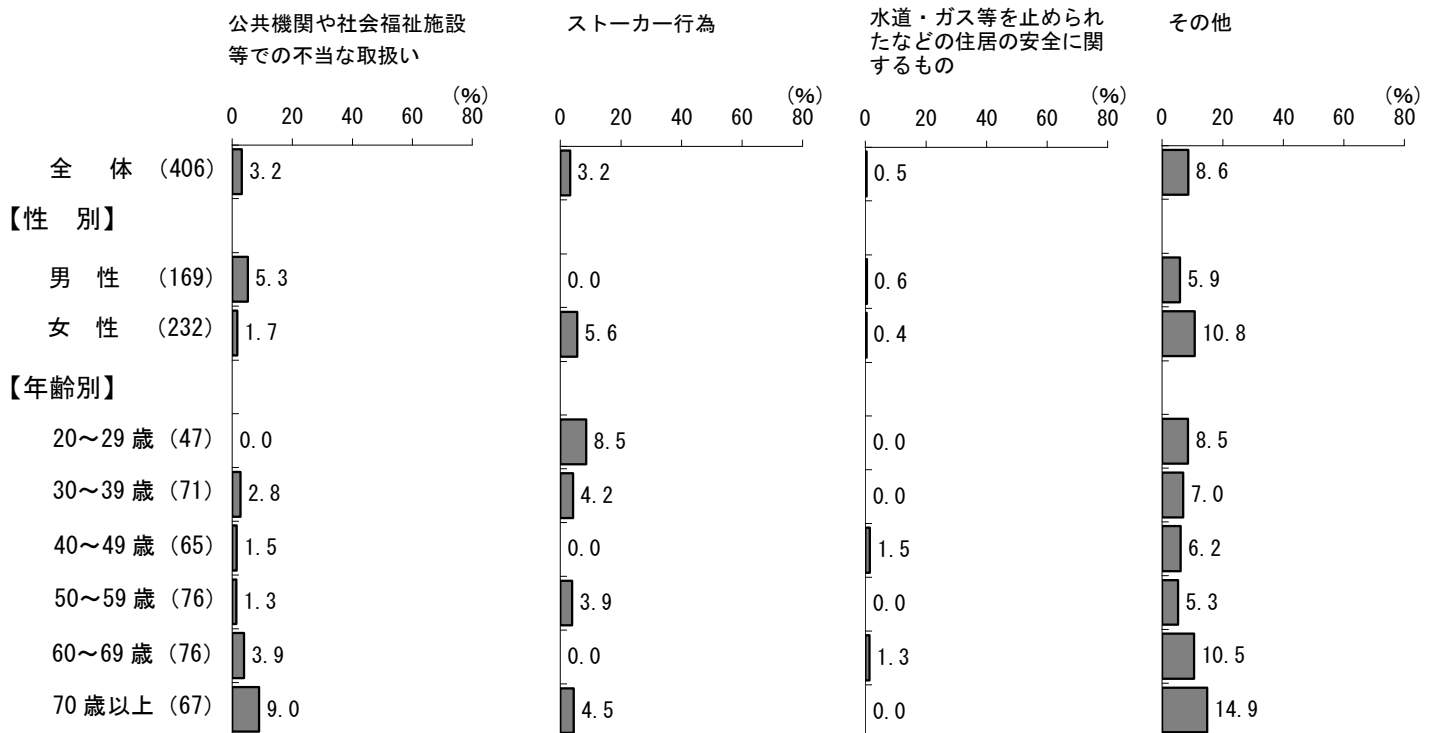
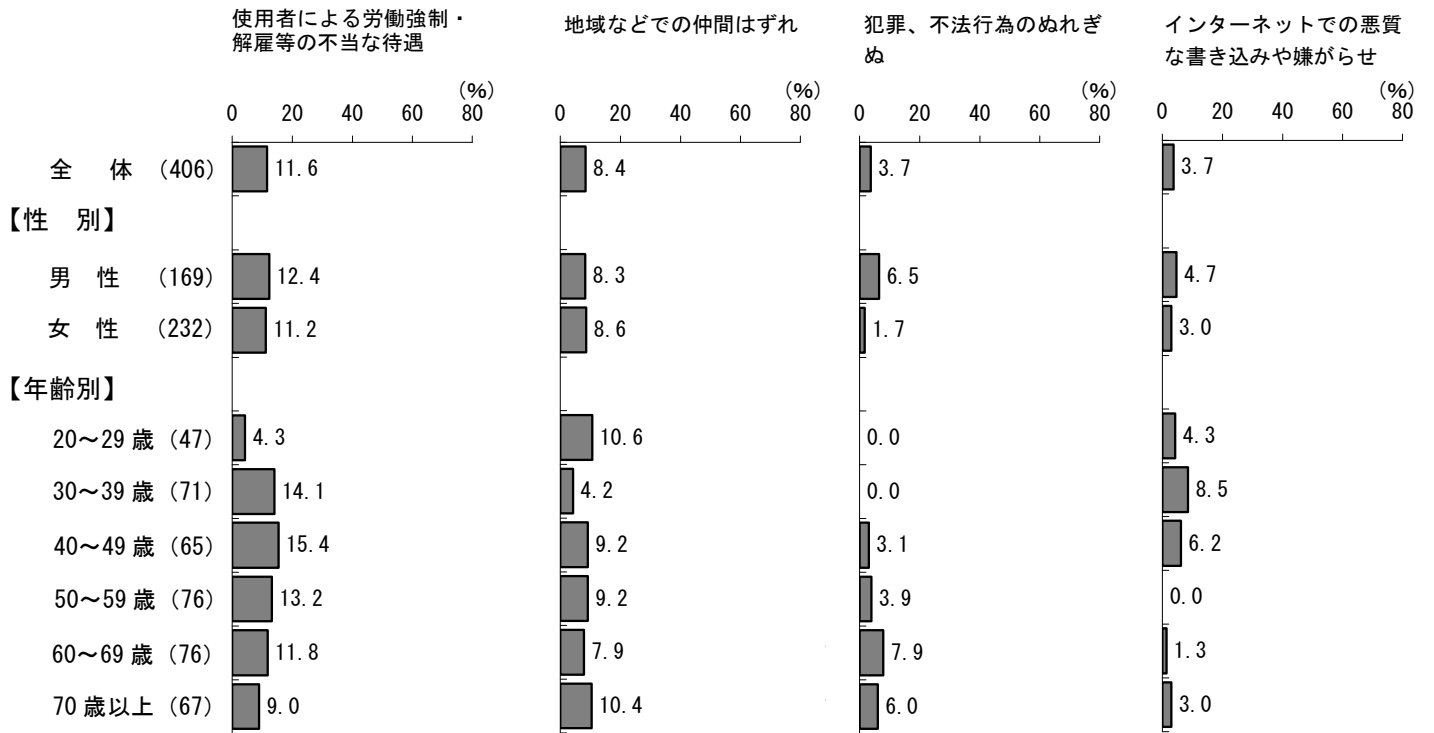


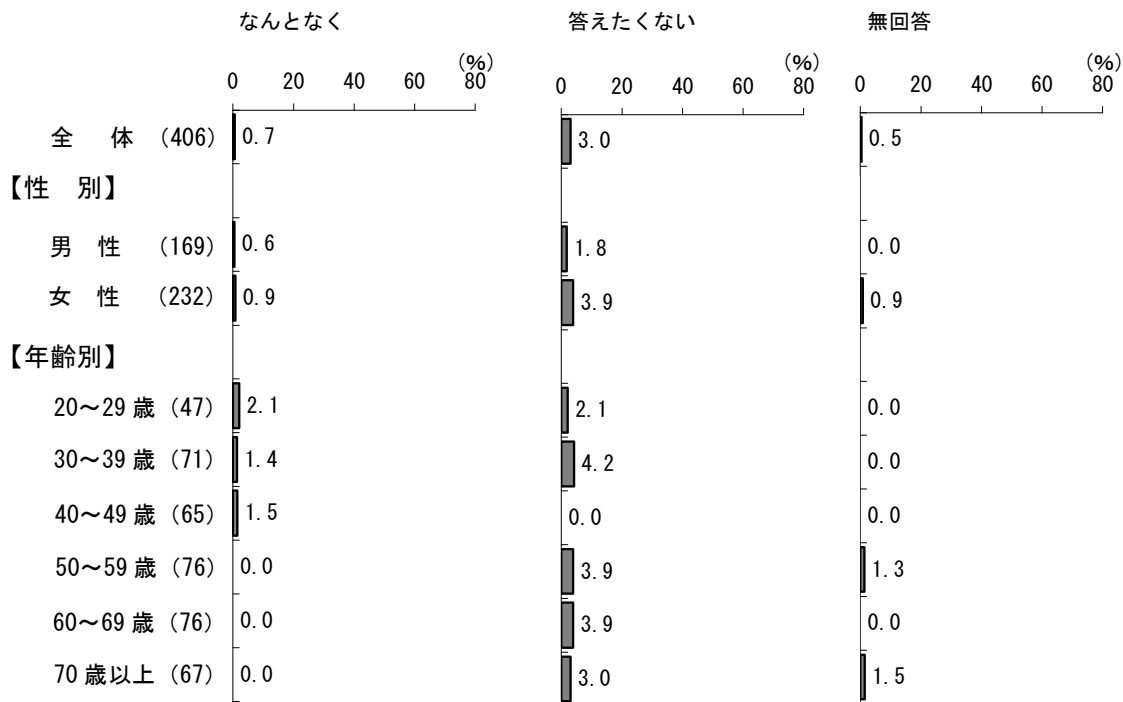
人権侵害の内容としては、「あられ噂、他人からの悪口、かげ口」が5割

人権侵害の内容について、「あられ噂、他人からの悪口、かげ口」と回答した人の割合が51.7%と最も高く、次いで「名誉・信用のき損、侮辱」(26.6%)、「差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により、不平等又は不利益な取扱いをされた）」、「プライバシーの侵害」（ともに19.5%）の順となっている。

②図4-2 人権侵害の内容【性別・年齢別】







性別で比較すると、男性の方が「名誉・信用のき損、侮辱」(30.8%)、「暴力、脅迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫などにより、本来義務のないことをやらされたり、権利の行使を妨害された)」(15.4%)、「プライバシーの侵害」(23.1%)と回答した人の割合が、女性の24.1%、9.1%、17.2%と比べそれぞれ高くなっている。また、女性の方が「セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント」(21.6%)、「ストーカー行為」(5.6%)と回答した人の割合が、男性の14.2%、0.0%と比べそれぞれ高くなっている。

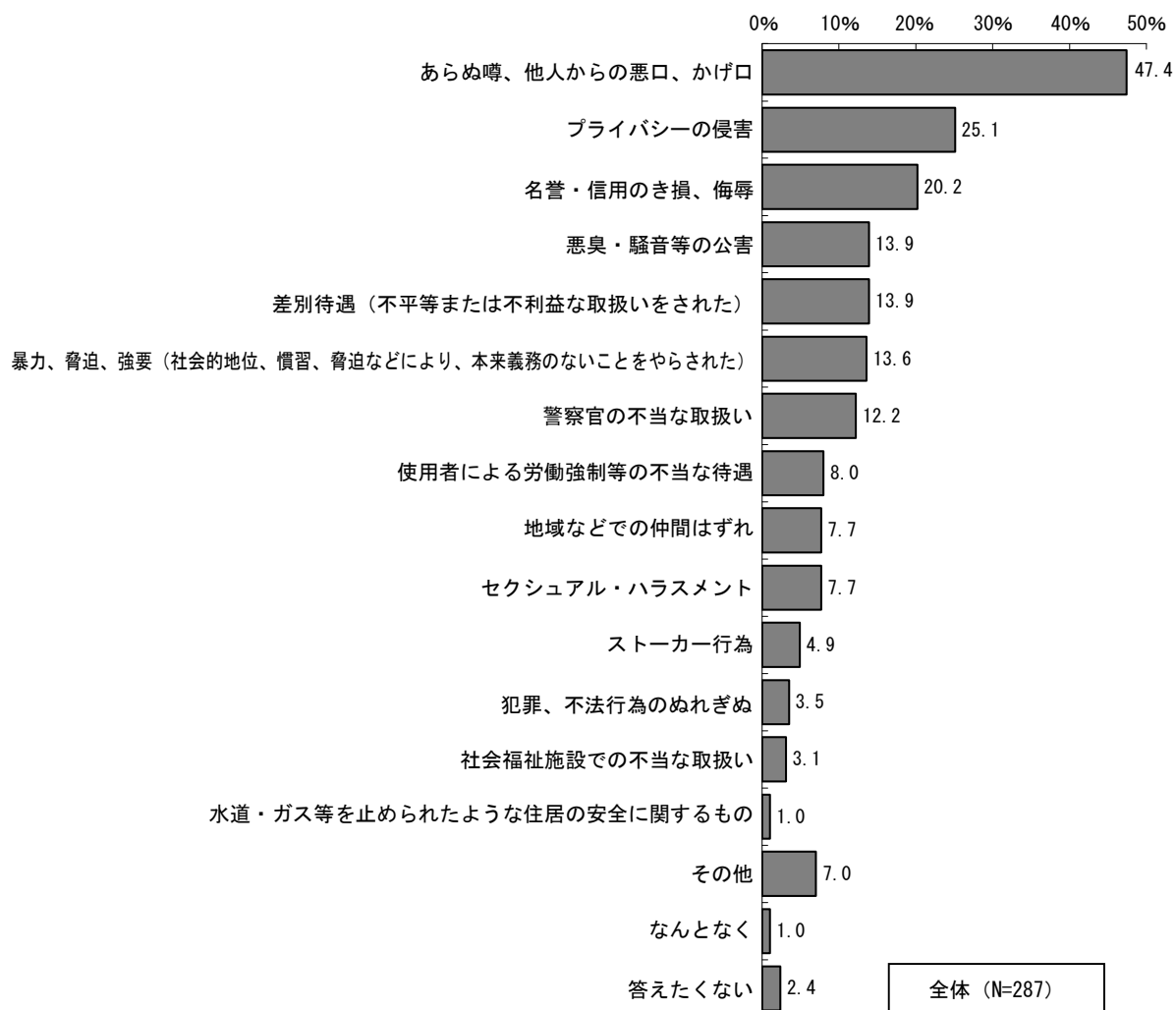
年齢別では、「セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント」と回答した人の割合は、年齢が低くなるにつれて高くなる傾向にある。

【参 考】全国調査（平成 19 年 6 月 内閣府 人権擁護に関する世論調査）

<人権侵害の内容>

（問3で「ある」と答えた者に聞く）

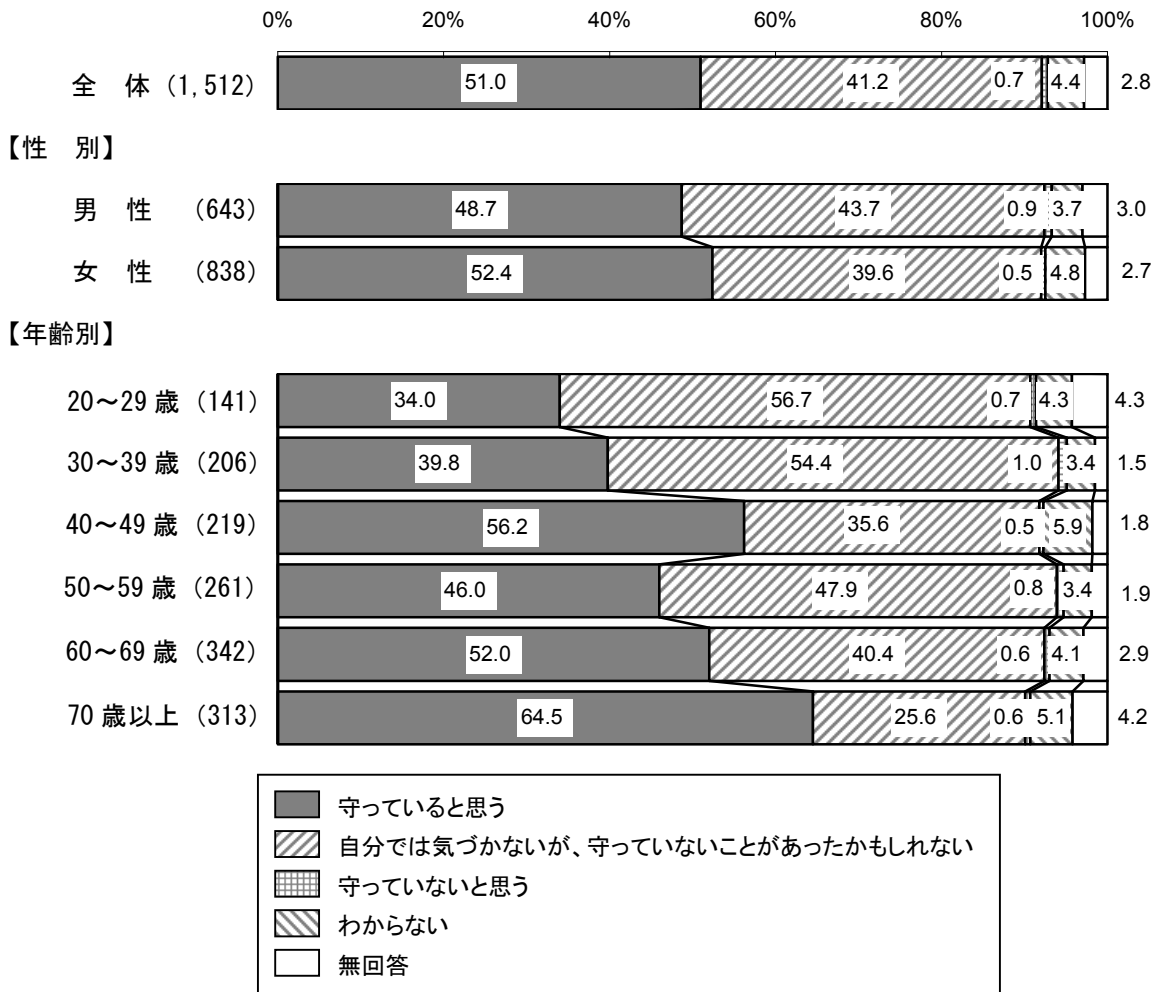
問3-1 それは、どのような場合ですか。差し支えなければこの中からいくつでもあげてください。



ア 他人の人権の尊重

問4 あなたは、他人の人権を守っていますか。(✓は1つ)

図5 他人の人権の尊重



他人の人権を守っていると思う人の割合は5割

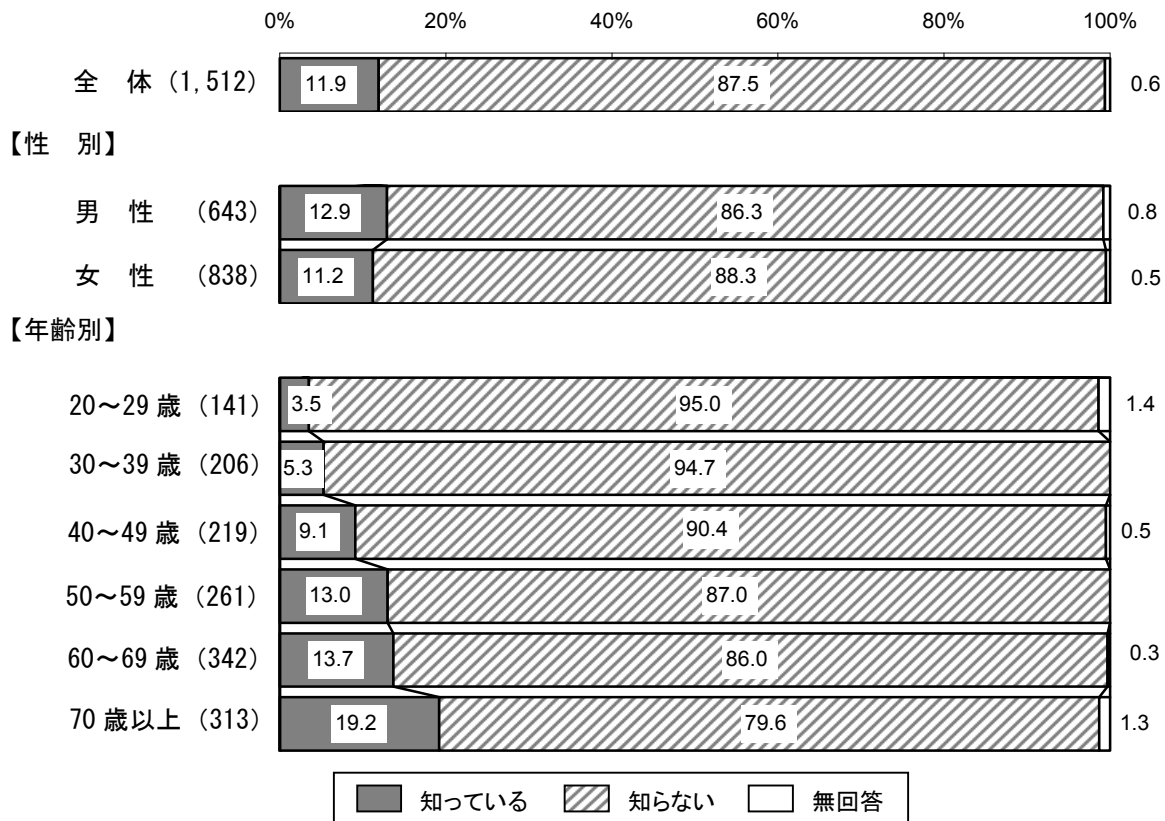
他人の人権の尊重について、「守っていると思う」と回答した人の割合が51.0%と最も高く、次いで「自分では気づかないが、守っていないことがあったかもしれない」(41.2%)、「わからない」(4.4%)、「守っていないと思う」(0.7%)の順となっている。

年齢別では、「守っていると思う」と回答した人の割合が、20～39歳では4割に満たないのに対し、70歳以上では64.5%と高くなっている。

イ 岡山県人権政策推進指針の周知度

問5 岡山県では、幅広い人権課題への対応や、より一層の人権尊重を踏まえた行政の推進など、人権に関する総合的な取組を推進するため、平成18年2月に「改訂岡山県人権政策推進指針」を策定し、人権施策を推進していますが、あなたは、この「改訂岡山県人権政策推進指針」を知っていますか。(✓は1つ)

図6 岡山県人権政策推進指針の周知度



岡山県人権政策推進指針の周知度は1割

岡山県人権政策推進指針の周知度について、「知っている」と回答した人の割合は11.9%、「知らない」と回答した人の割合は87.5%となっている。

年齢別では、「知っている」と回答した人の割合は、年齢が高くなるにつれて高くなっている。

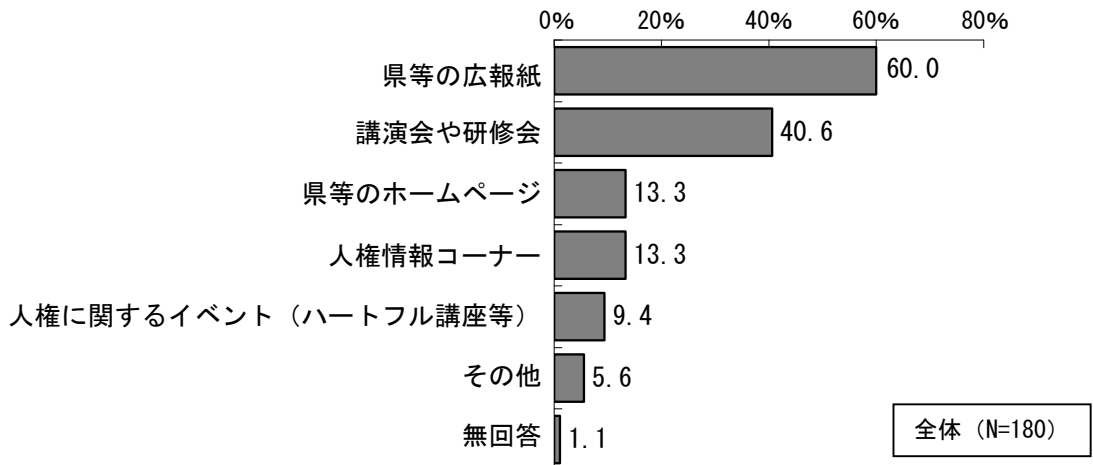
ウ 岡山県人権政策推進指針を知ったきっかけ

問5-1 【問5で「1 知っている」を選んだ人のみ回答】

あなたが、「改訂岡山県人権政策推進指針」を知ったきっかけは何からですか。

(✓はいくつでも)

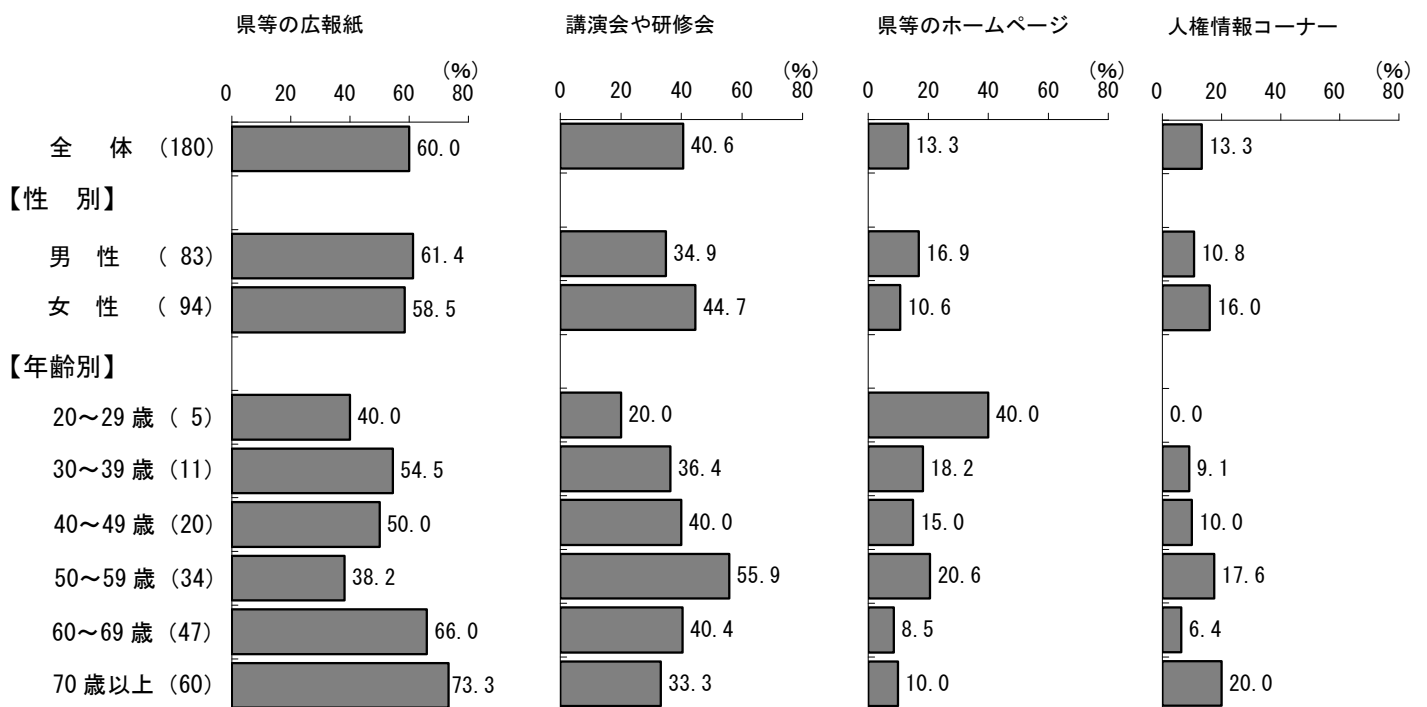
①図7-1 岡山県人権政策推進指針を知ったきっかけ【全体】

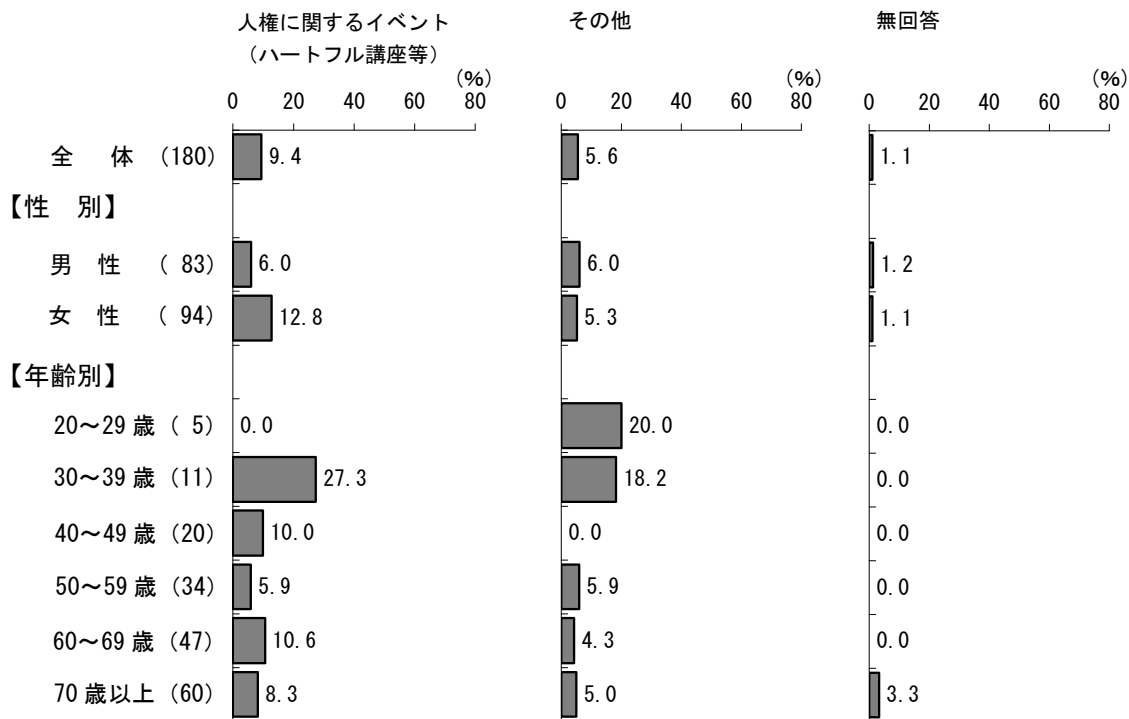


岡山県人権政策推進指針を知ったきっかけは、「県等の広報紙」が6割、「講演会や研修会」が4割

岡山県人権政策推進指針を知ったきっかけについて、「県等の広報紙」と回答した人の割合が60.0%と最も高く、次いで「講演会や研修会」(40.6%)、「県等のホームページ」、「人権情報コーナー」(ともに13.3%)の順となっている。

②図7-2 岡山県人権政策推進指針を知ったきっかけ【性別・年齢別】





性別で比較すると、男性の方が「県等のホームページ」と回答した人の割合が16.9%と、女性の10.6%と比べて高くなっている。また、女性の方が「講演会や研修会」(44.7%)、「人権に関するイベント(ハートフル講座等)」(12.8%)と回答した人の割合が、男性の34.9%、6.0%と比べて高くなっている。

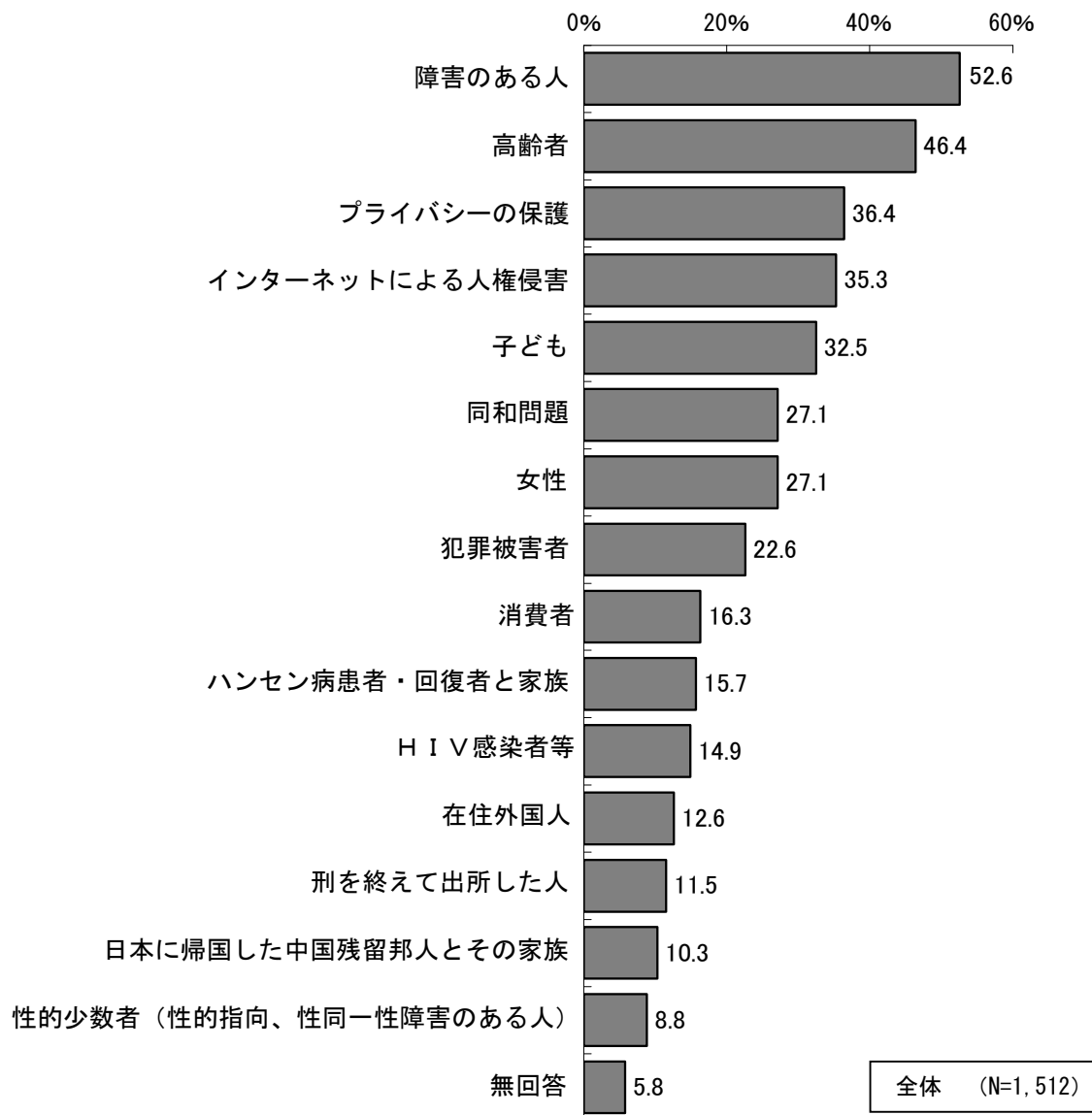
年齢別で比較すると、「県等の広報紙」では60歳以上で、「講演会や研修会」では50～59歳で、「県等のホームページ」では20～29歳で、「人権に関するイベント(ハートフル講座等)」では30～39歳で回答した人の割合がそれぞれ高くなっている。

2 主な人権課題に関する意識について

(1)人権課題に対する関心

問6 「改訂岡山県人権政策推進指針」に掲げている次の人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。(✓はいくつでも)

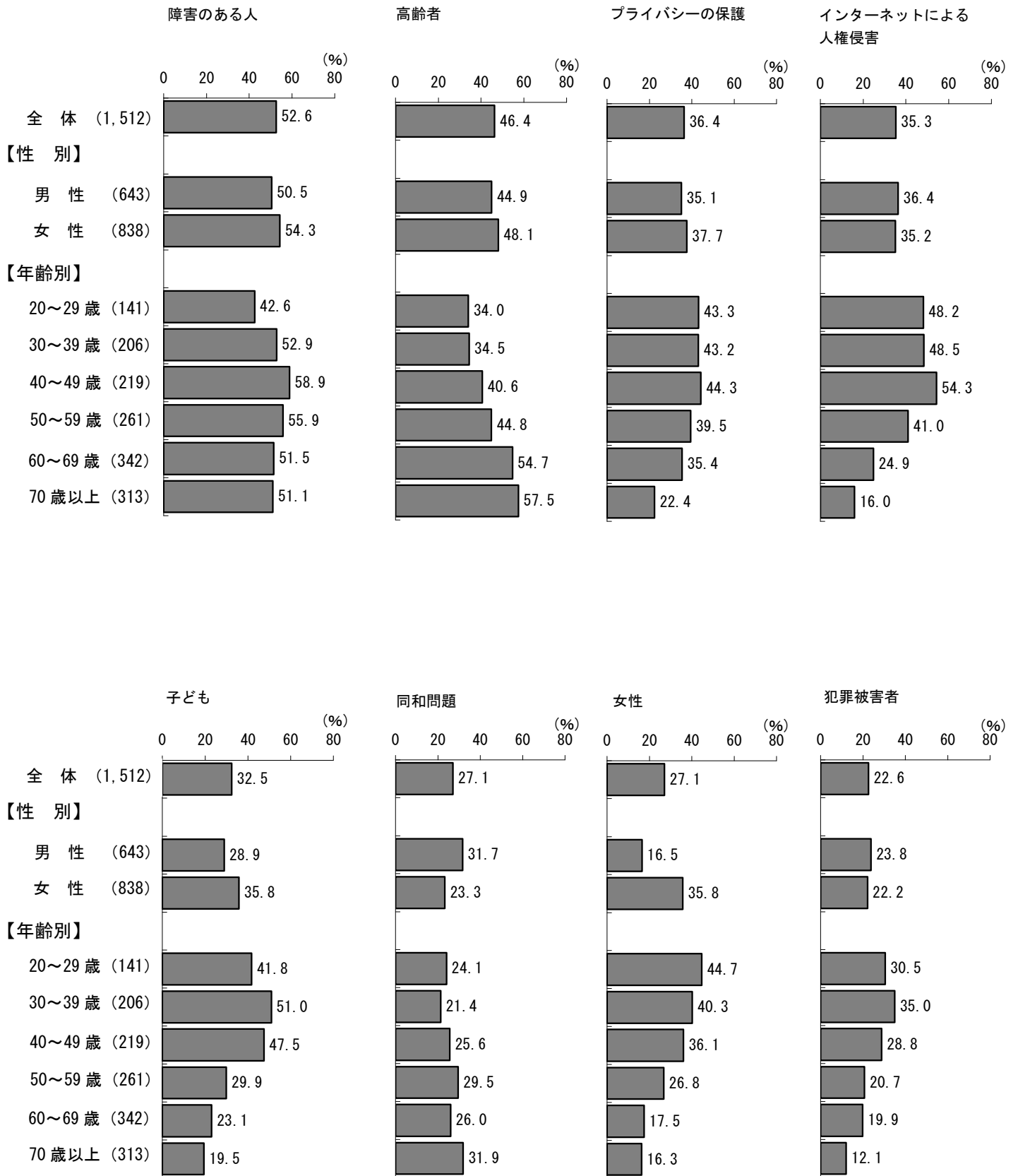
①図8-1 人権課題に対する関心【全体】

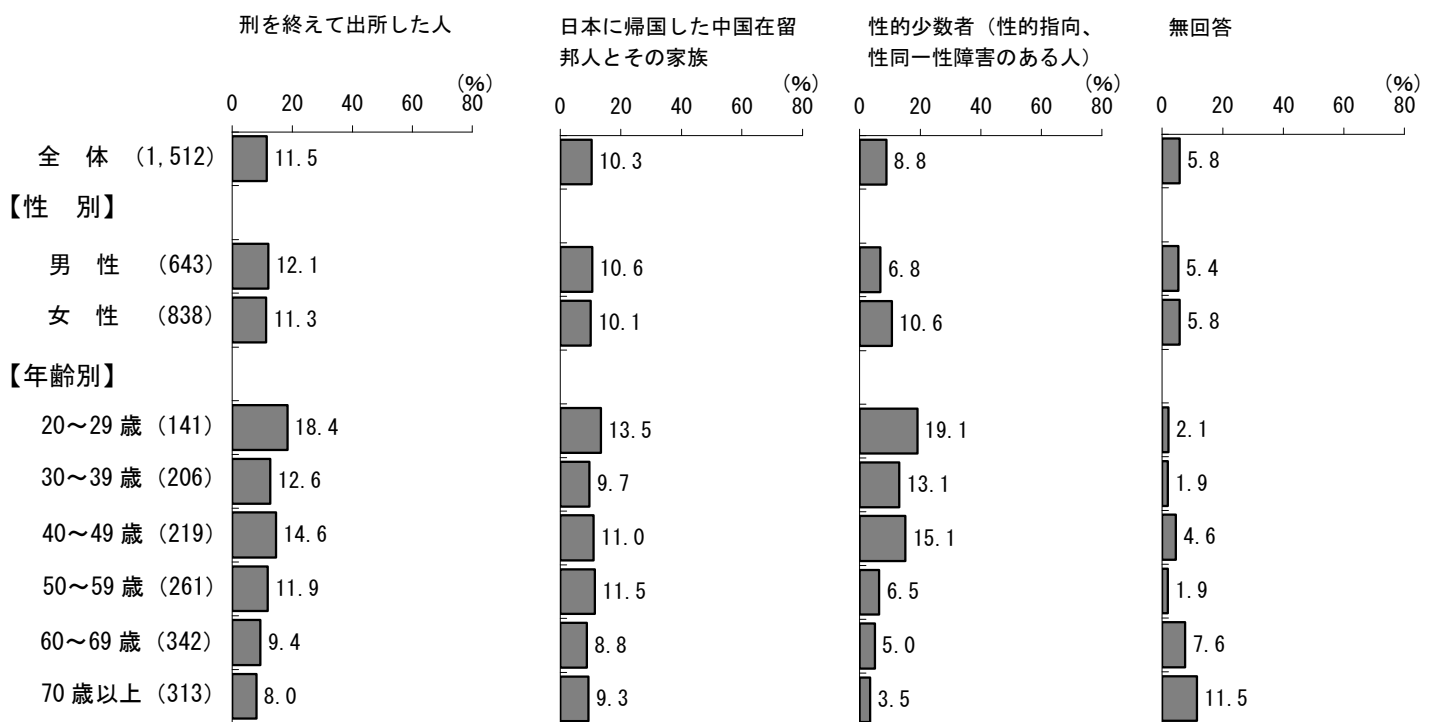
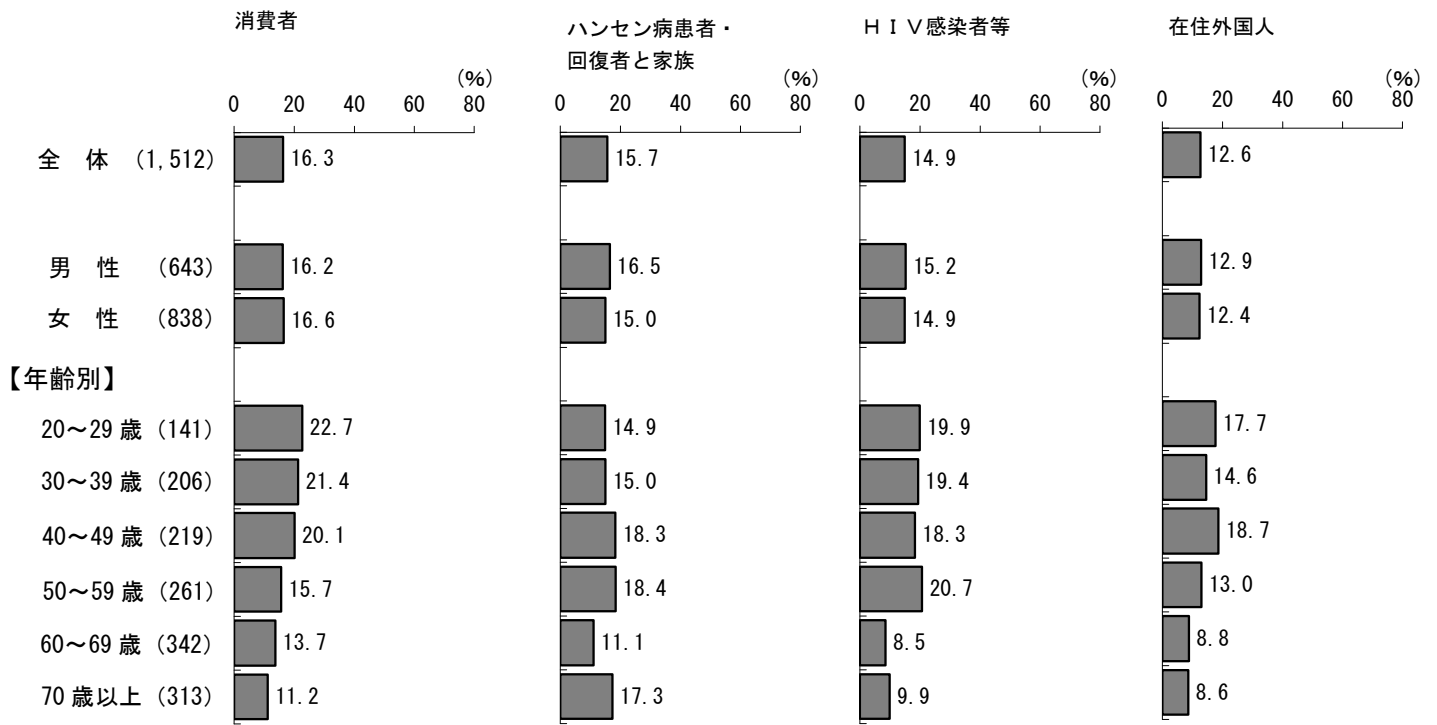


関心がある人権課題は「障害のある人」、「高齢者」が5割

「改訂岡山県人権政策推進指針」に掲げている人権課題に対する関心について、「障害のある人」と回答した人の割合が52.6%と最も高く、次いで「高齢者」(46.4%)、「プライバシーの保護」(36.4%)の順となっている。

②図8-2 人権課題に対する関心【性別・年齢別】





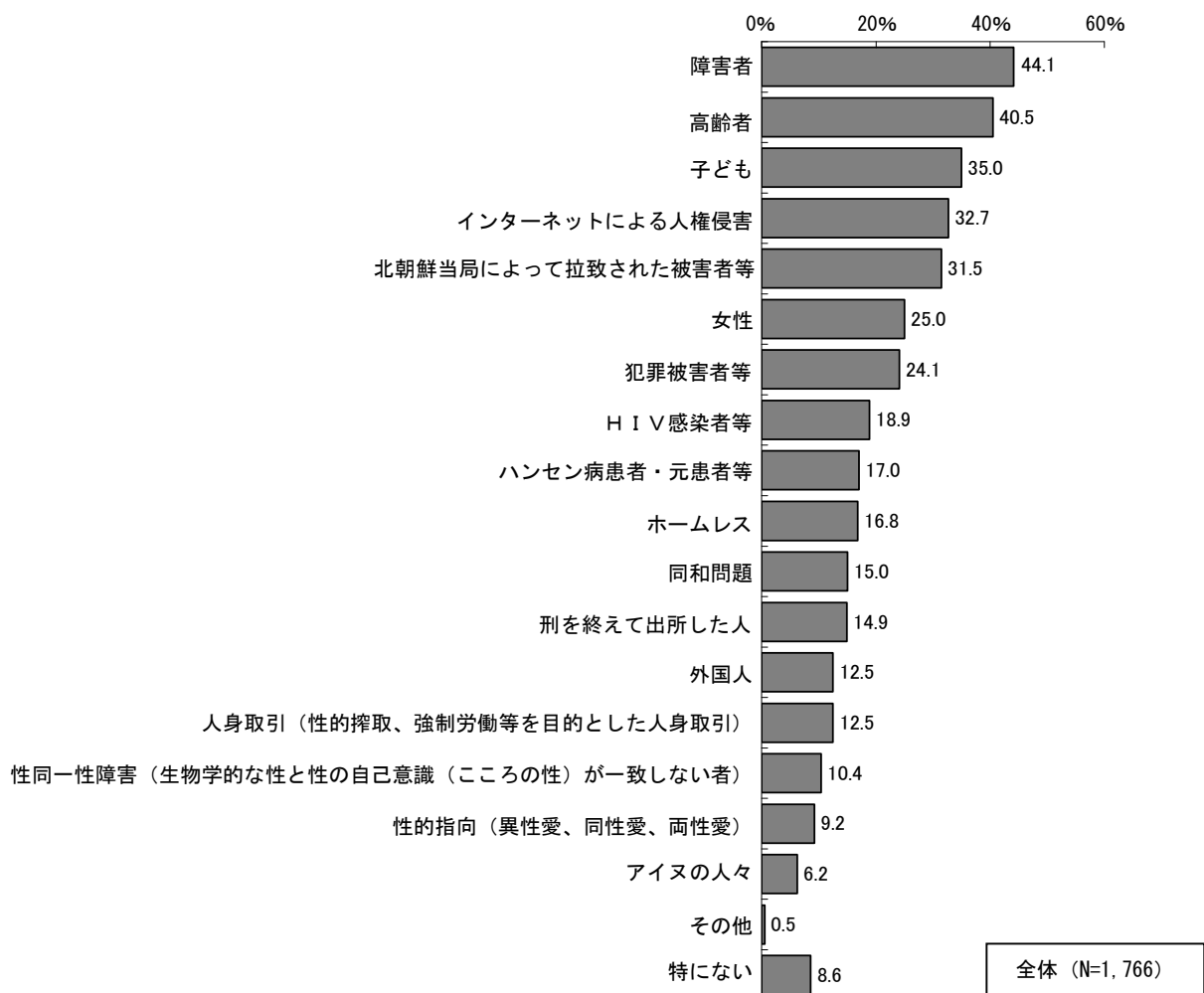
性別で比較すると、男性の方が「同和問題」と回答した人の割合が31.7%と、女性の23.3%と比べて高くなっている。また、女性の方が「女性」(35.8%)、「子ども」(35.8%)と回答した人の割合が、男性の16.5%、28.9%と比べて高くなっている。

年齢別で比較すると、「プライバシーの保護」、「インターネットによる人権侵害」では20～49歳で回答した人の割合がそれぞれ高くなっている。また、年齢が低くなるにつれて「女性」と回答した人の割合が高く、「高齢者」と回答した人の割合が低くなる傾向がある。

【参 考】全国調査（平成 19 年 6 月 内閣府 人権擁護に関する世論調査）

＜人権課題に対する関心＞

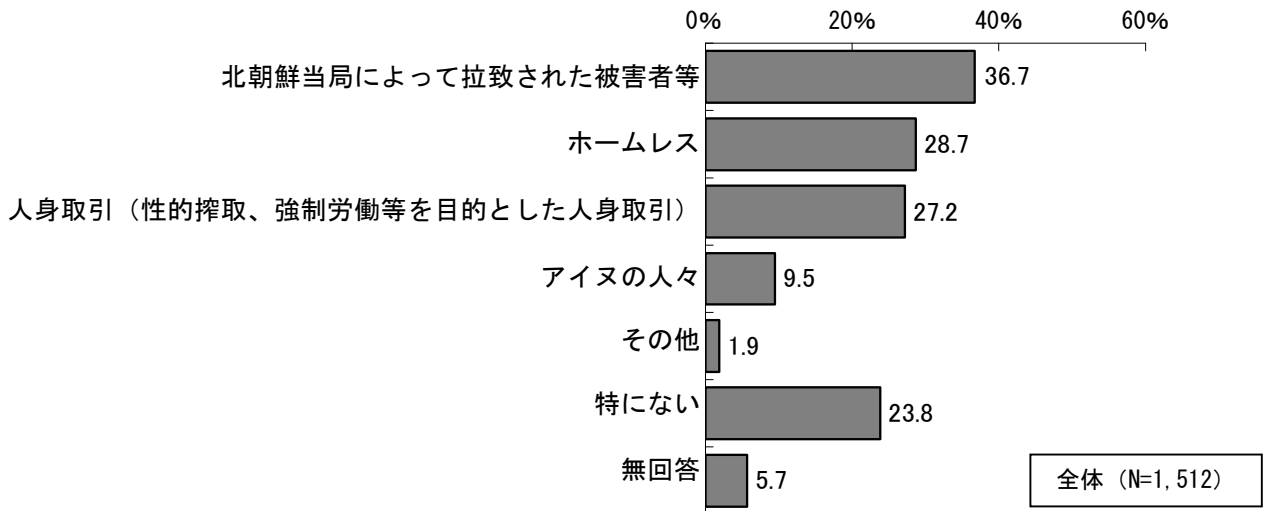
問 5 日本における人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。この中からいくつでもあげてください。



ア 岡山県人権政策推進指針に加えたい人権課題

問7 次の人権課題の中で「次回改訂する指針」に新たに加えたらよいと思われるものはどれですか。(✓は2つまで)

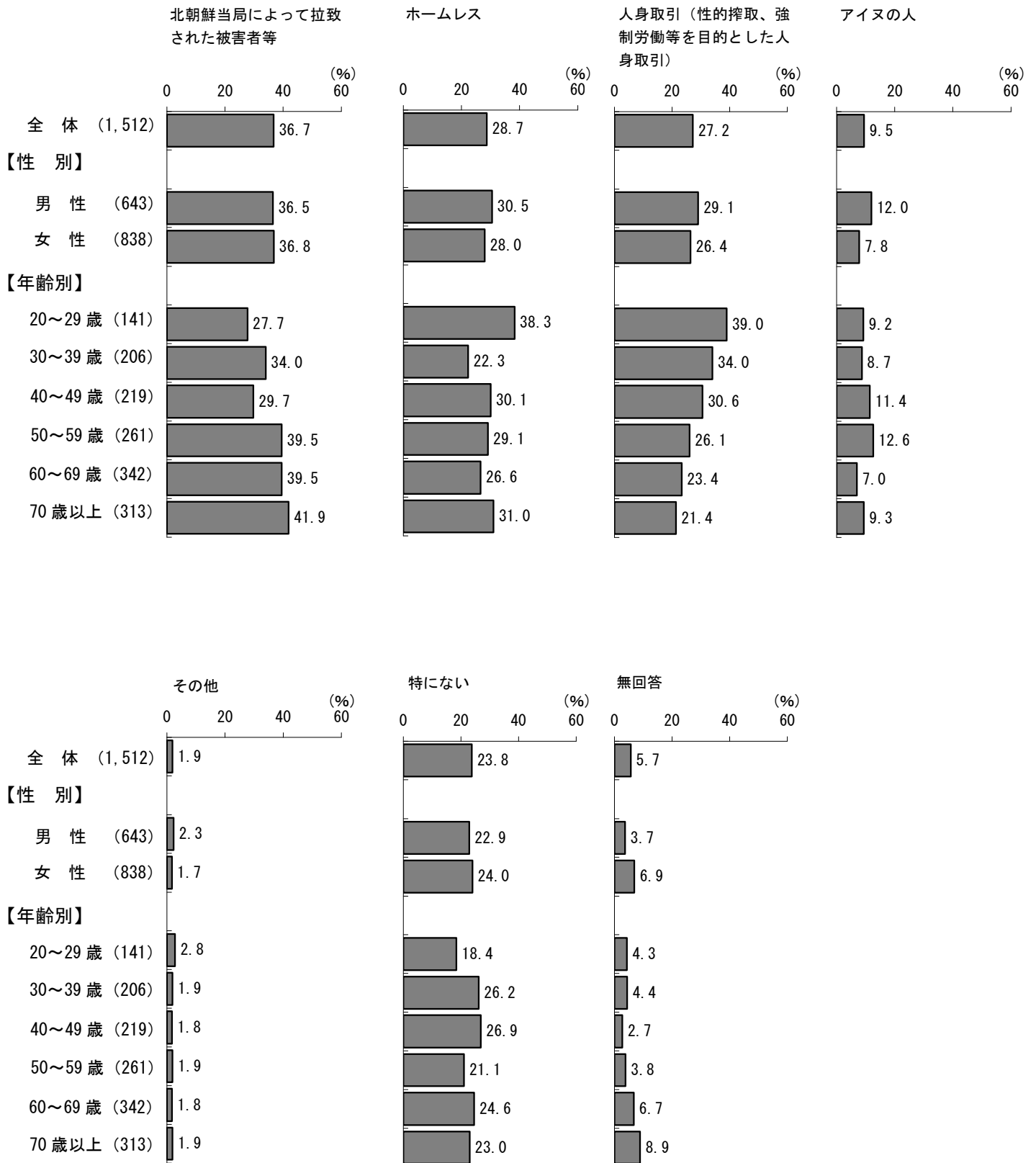
①図9-1 岡山県人権政策推進指針に加えたい人権課題【全体】



加えたい人権課題について、「北朝鮮当局によって拉致された被害者等」が4割、「ホームレス」、「人身取引」の2つが3割

岡山県人権政策推進指針に加えたい人権課題について、「北朝鮮当局によって拉致された被害者等」と回答した人の割合が36.7%と最も高く、次いで「ホームレス」(28.7%)、「人身取引 (性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)」(27.2%)の順となっている。

②図9-2 岡山県人権政策推進指針に加えたい人権課題【性別・年齢別】

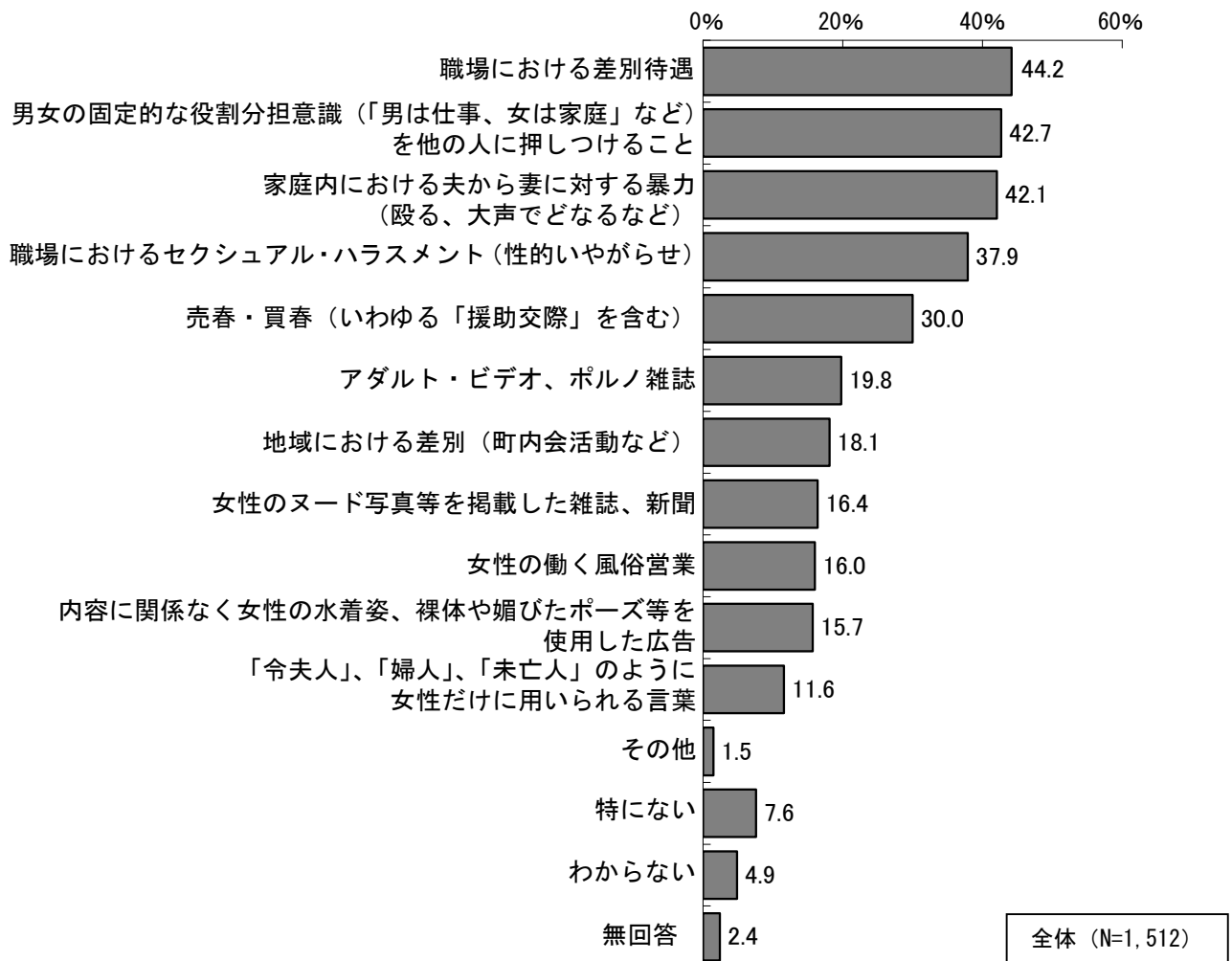


年齢別で比較すると、「ホームレス」では20~29歳で回答した人の割合が38.3%と高くなっている。また、年齢が低くなるにつれて、「人身取引 (性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)」と回答した人の割合が高くなっている。

(2)女性に関する人権上の問題点

問8 あなたは、女性に関する事柄で、人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓はいくつでも)

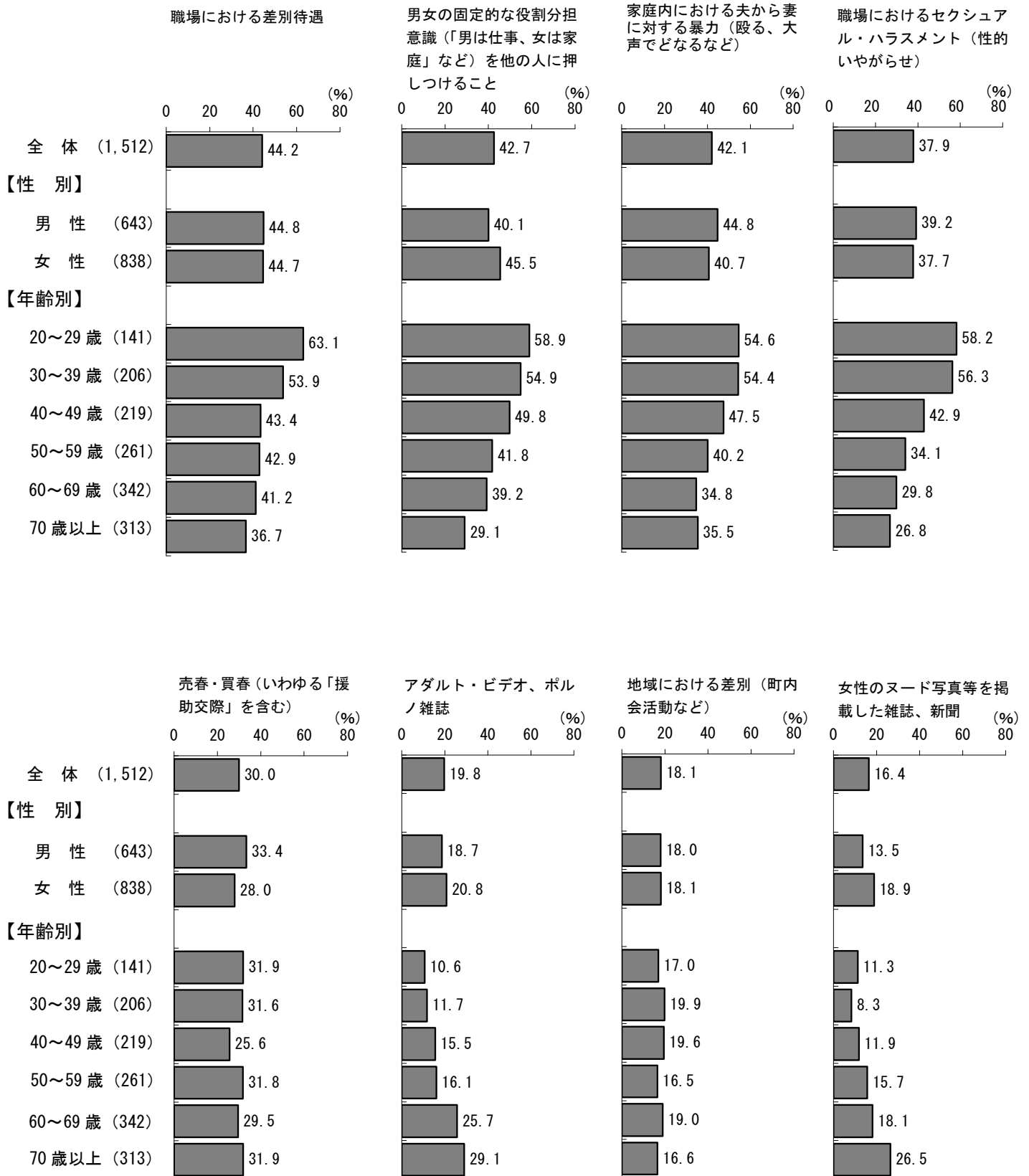
①図 10-1 女性に関する人権上の問題点【全体】

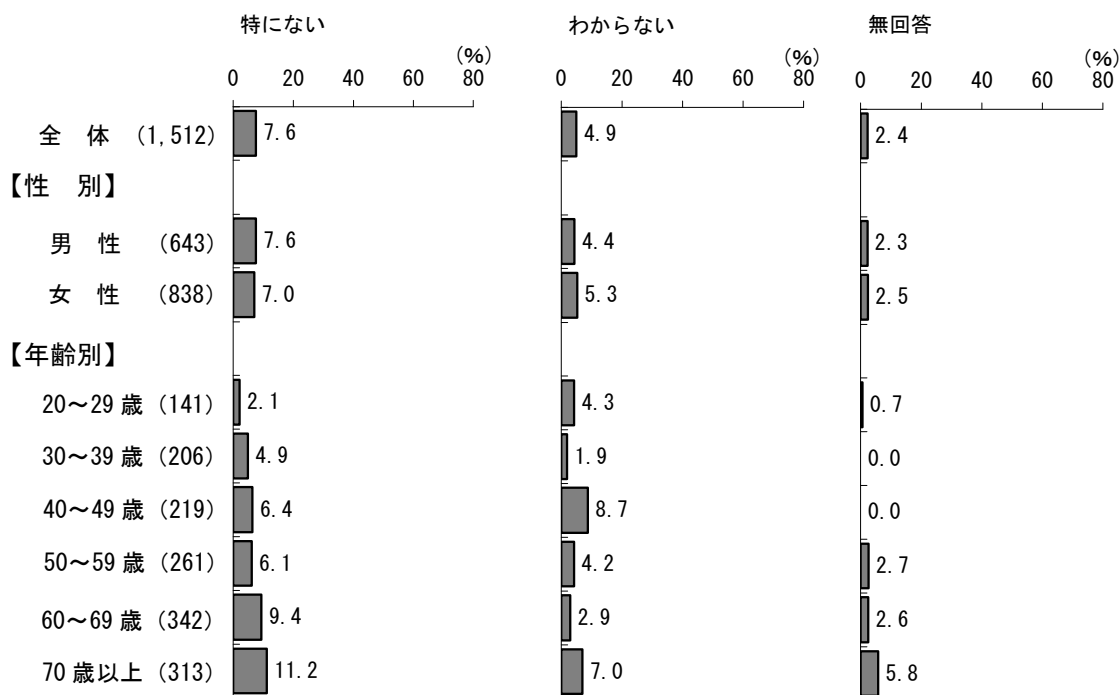
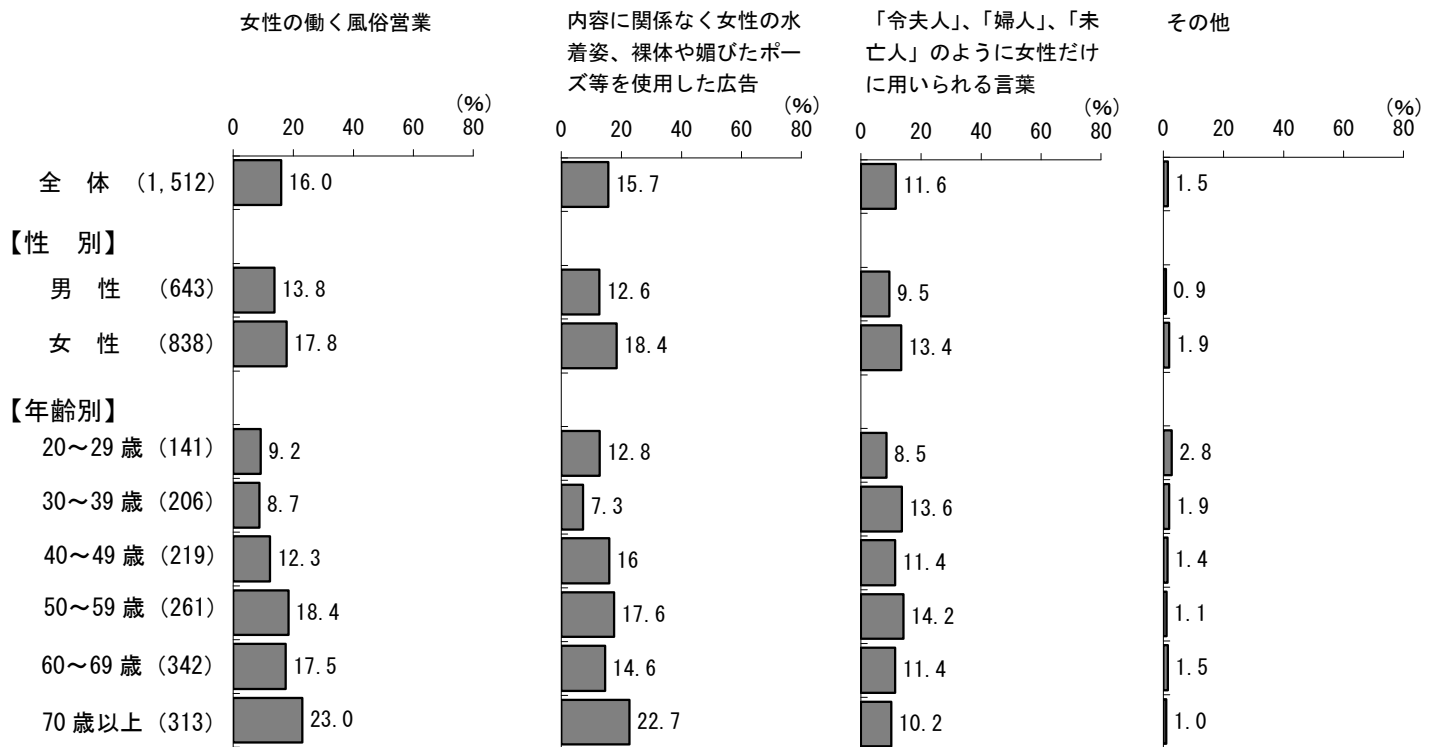


女性に関する人権問題について、「職場における差別待遇」、「男女の固定的な役割分担意識を他の人に押し付けること」、「家庭内における夫から妻に対する暴力」の3つが4割以上

女性に関する人権上の問題点について、「職場における差別待遇」と回答した人の割合が44.2%と最も高く、次いで「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」などを他の人に押しつけること）（42.7%）、「家庭内における夫から妻に対する暴力（殴る、大声でどなるなど）」（42.1%）の順となっている。

②図 10-2 女性に関する人権上の問題点【性別・年齢別】





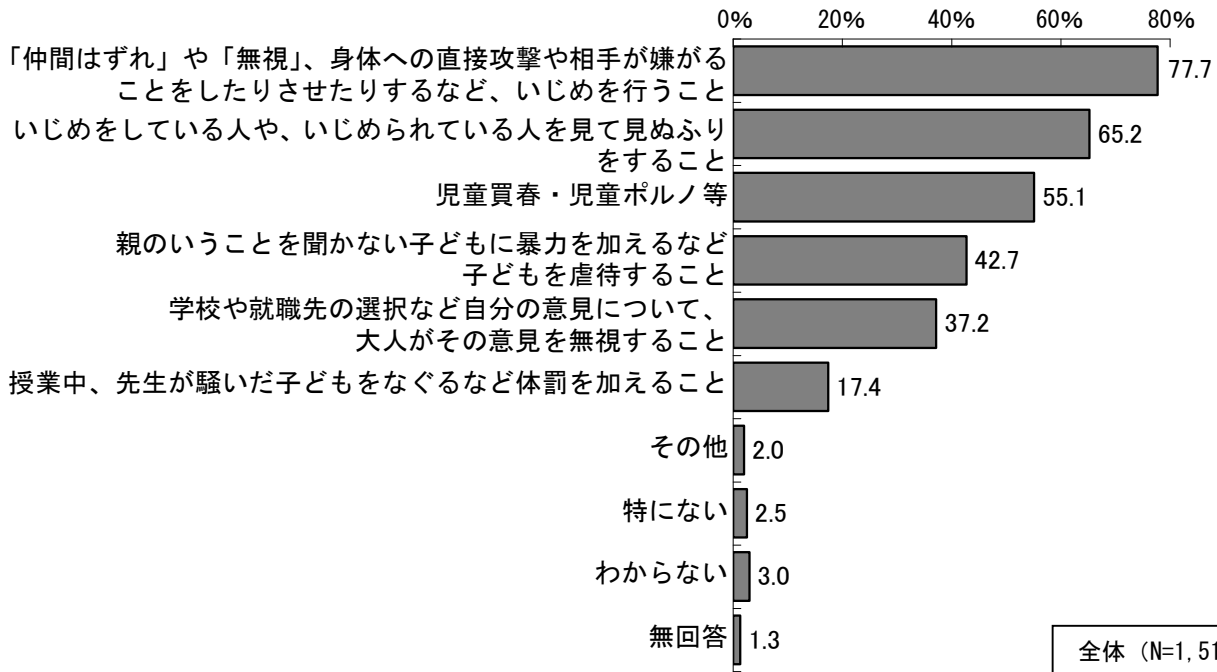
性別で比較すると、女性の方が「内容に関係なく女性の水着姿、裸体や媚びたポーズなどを使用した広告」と回答した人の割合が18.4%と、男性の12.6%と比べて高くなっている。

年齢別では、年齢が低くなるにつれて「職場における差別待遇」、「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を他の人に押しつけること」、「家庭内における夫から妻に対する暴力（殴る、大声でどなるなど）」、「職場におけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」と回答した人の割合がそれぞれ高くなる傾向がある。

(3)子どもに関する人権上の問題点

問9 あなたは、子どもに関する事柄で、人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓はいくつでも)

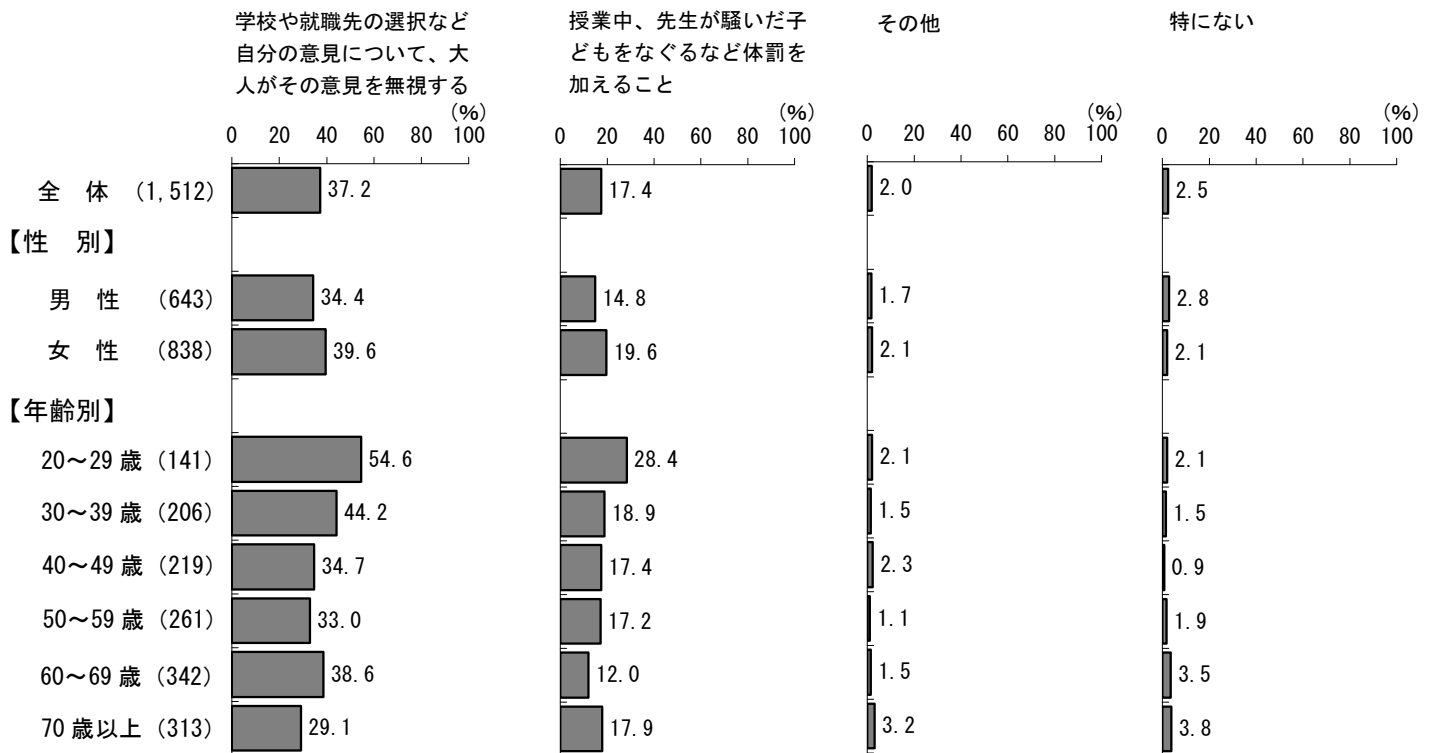
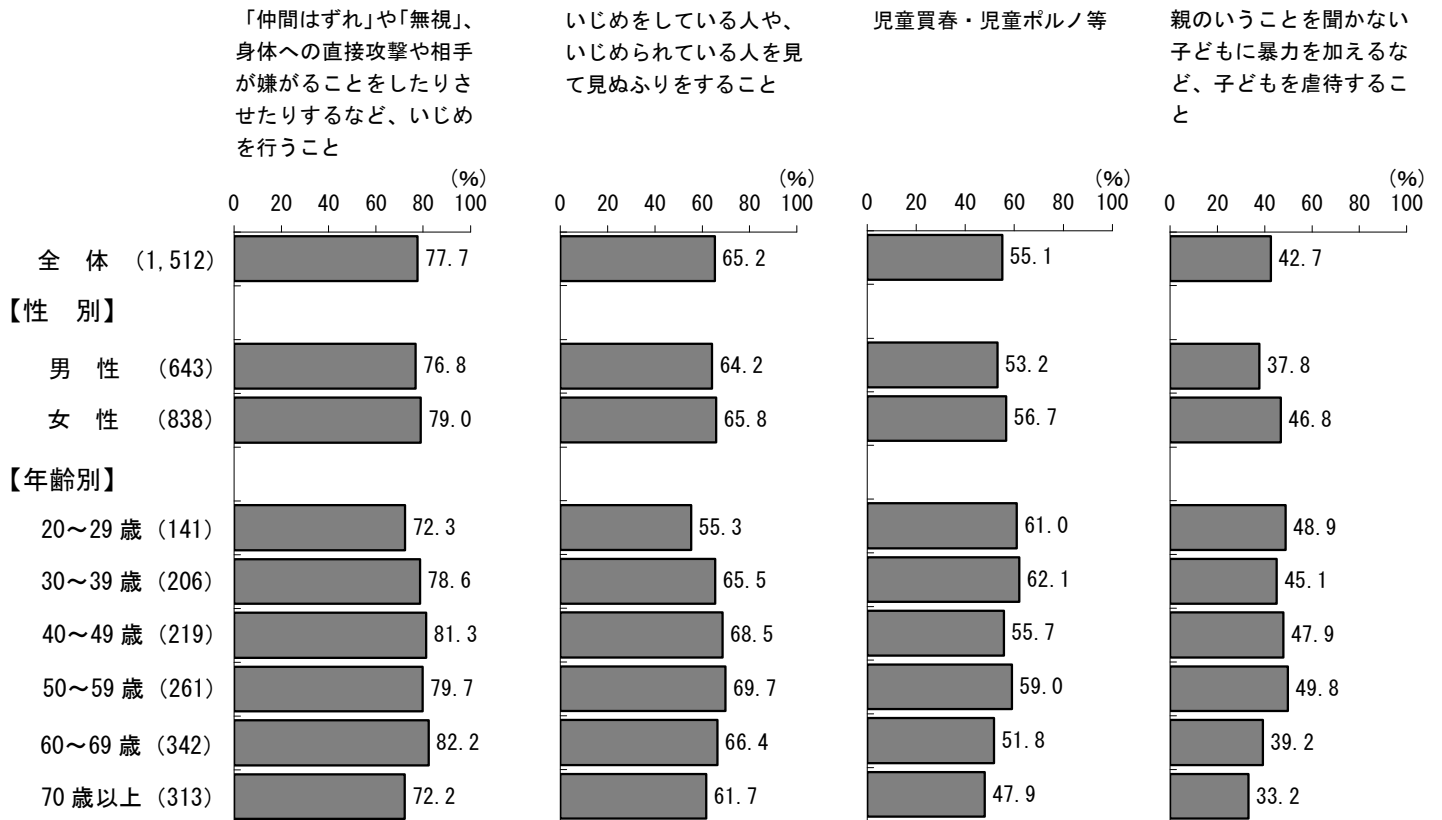
①図 11-1 子どもに関する人権上の問題点【全体】

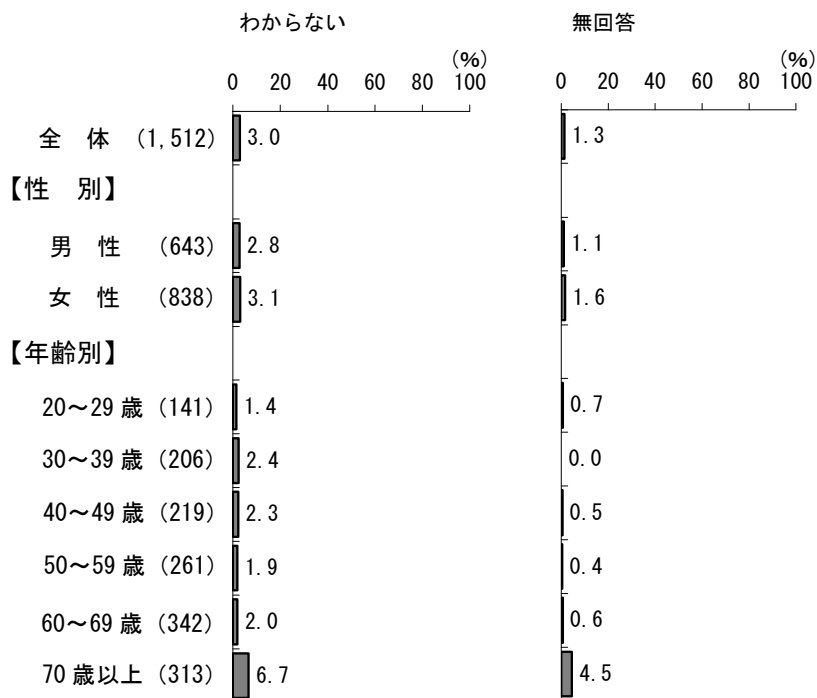


子どもに関する人権問題について、「『仲間はずれ』や『無視』、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたりさせたりするなど、いじめを行うこと」が8割

子どもに関する人権上の問題点について、「『仲間はずれ』や『無視』、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたりさせたりするなど、いじめを行うこと」と回答した人の割合が77.7%と最も高く、次いで「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする」(65.2%)、「児童買春・児童ポルノ等」(55.1%)の順となっている。

②図 11-2 子どもに関する人権上の問題点【性別・年齢別】





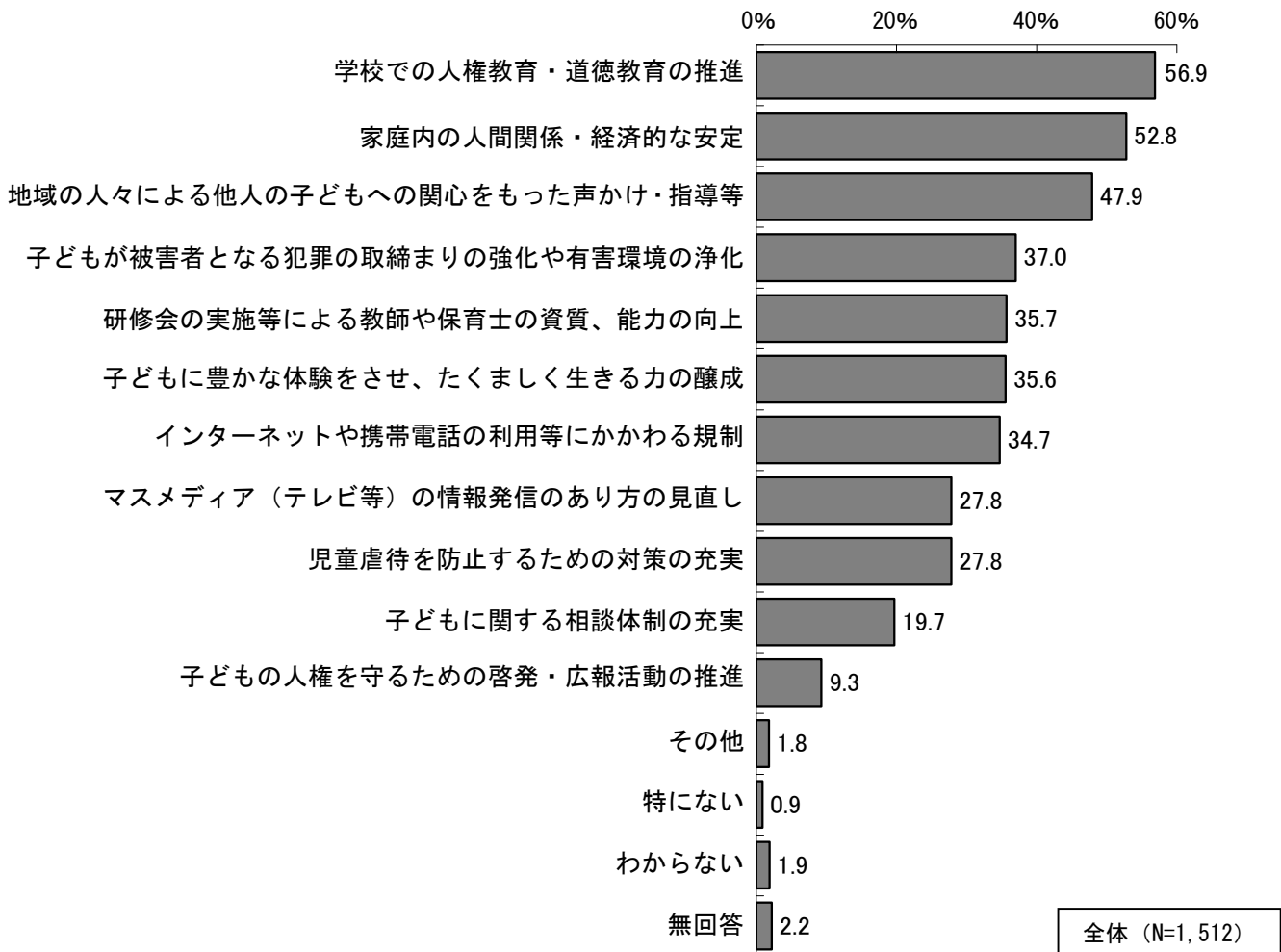
性別で比較すると、女性の方が「親のいうことを聞かない子どもに暴力を加えるなど子どもを虐待すること」と回答した人の割合が46.8%と、男性の37.8%と比べて高くなっている。

年齢別で比較すると、「学校や就職先の選択など自分の意見について、大人がその意見を見無視すること」、「授業中、先生が騒いだ子どもをなぐるなど体罰を加えること」では20～29歳で回答した人の割合が高くなっている。

ア 子どもの人権を守るために必要なこと

問 10 子どもの人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(✓は5つまで)

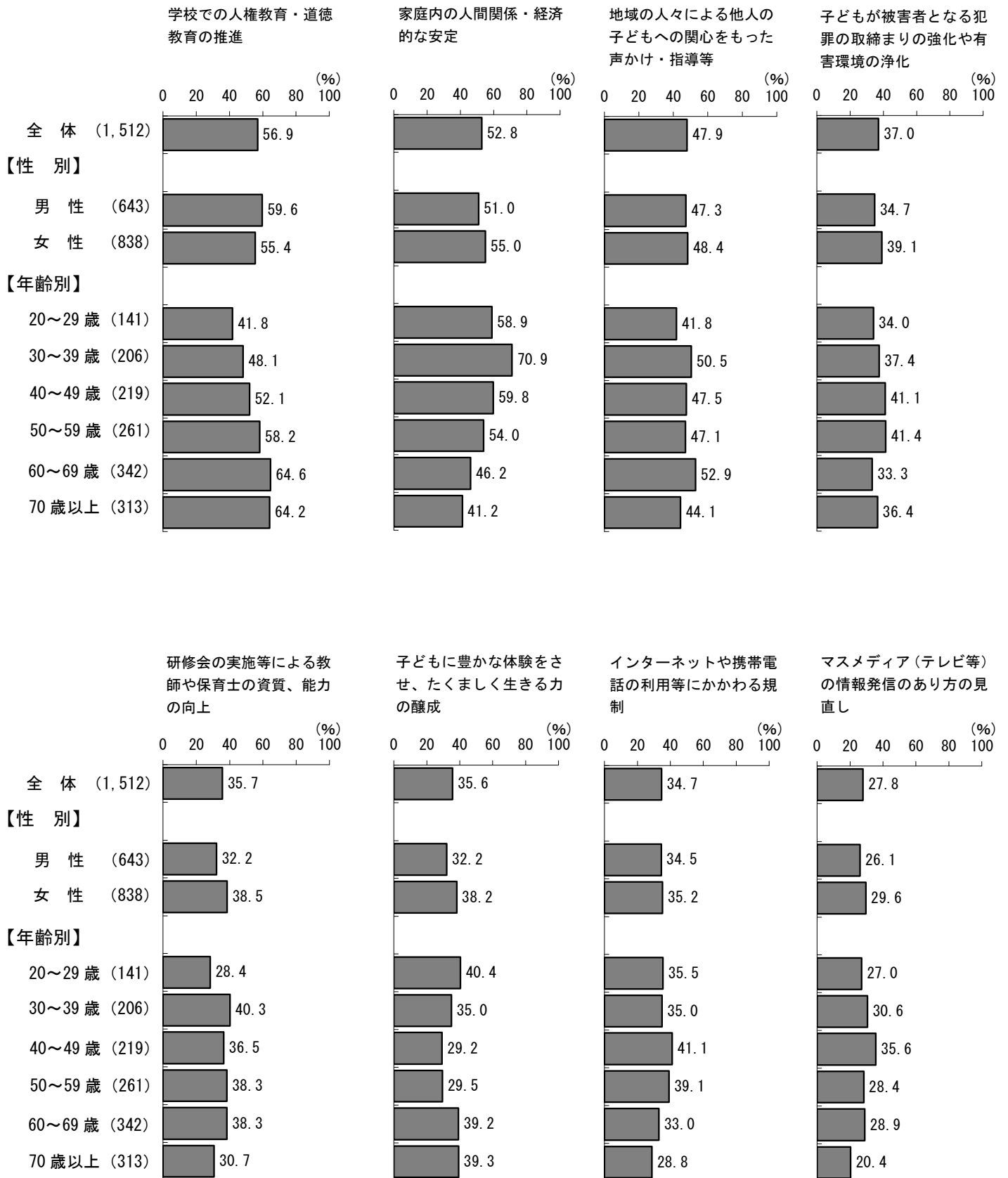
①図 12-1 子どもの人権を守るために必要なこと【全体】

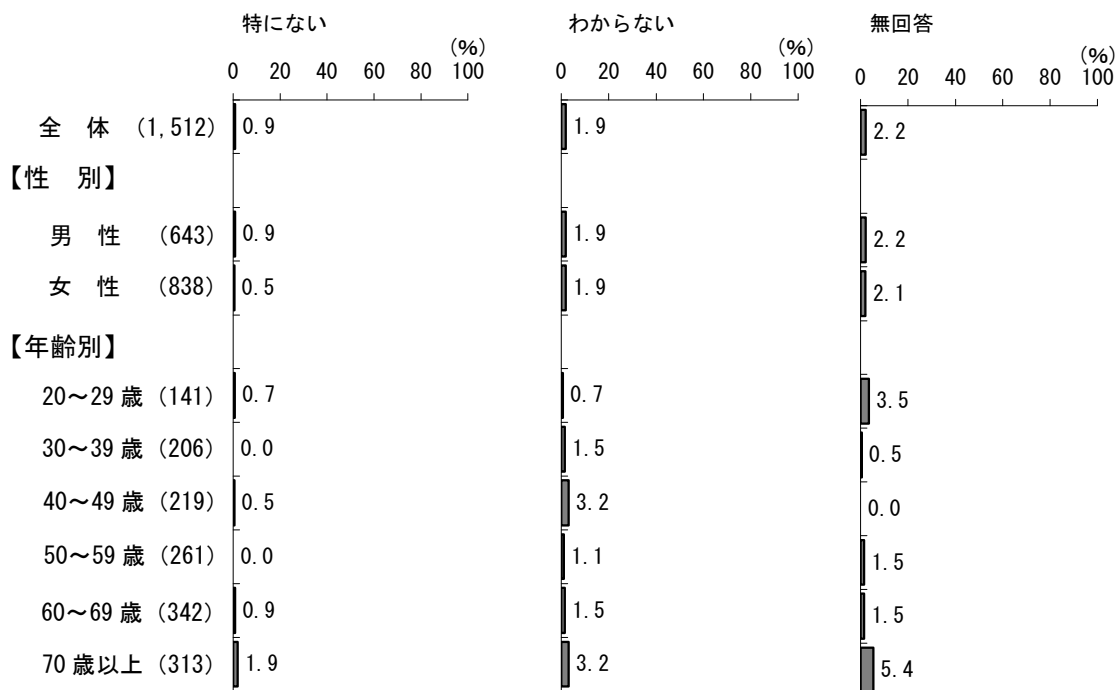
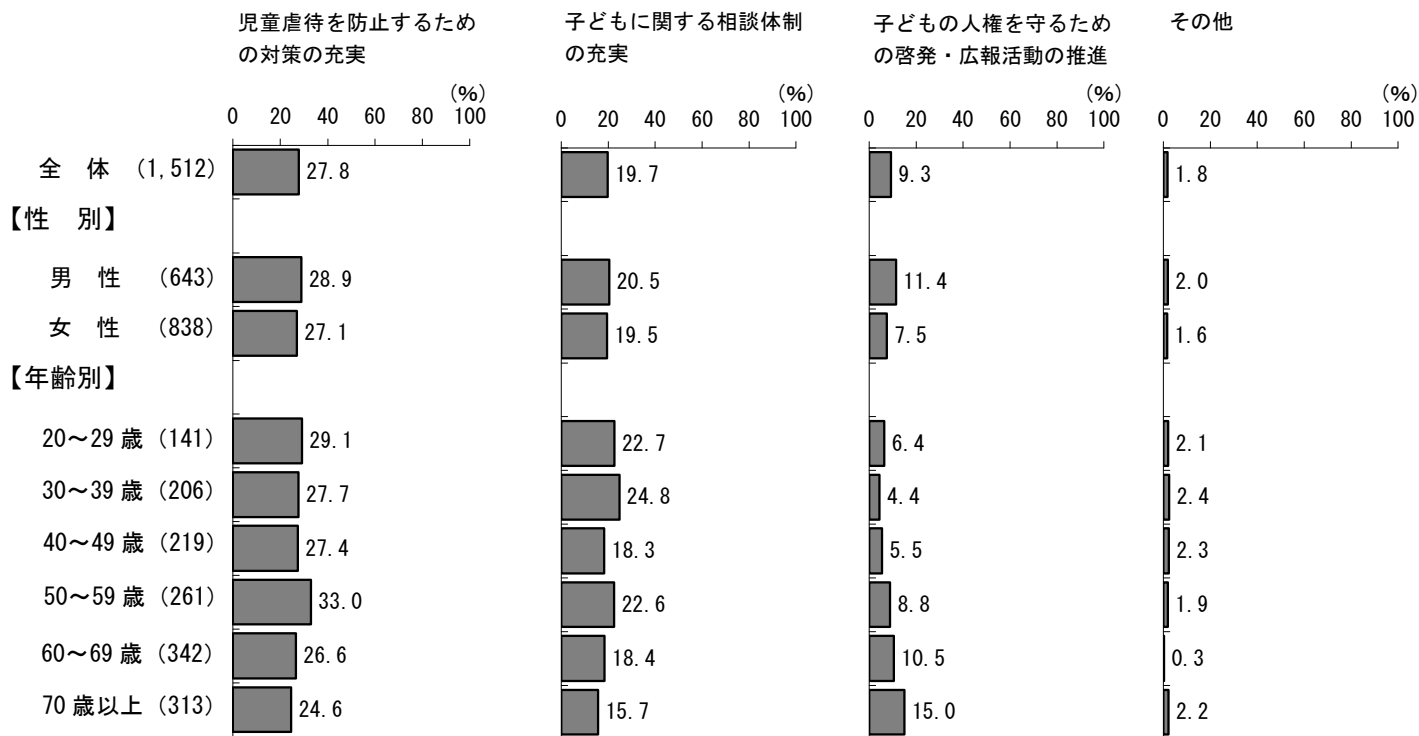


子どもの人権を守るために必要なことについて、「学校での人権教育・道徳教育の推進」、「家庭内の人間関係・経済的な安定」がともに5割以上

子どもの人権を守るために必要なことについて、「学校での人権教育・道徳教育の推進」と回答した人の割合が56.9%と最も高く、次いで「家庭内の人間関係・経済的な安定」(52.8%)、「地域の人々による他人の子どもへの関心をもった声かけ・指導等」(47.9%)の順となっている。

②図 12-2 子どもの人権を守るために必要なこと【性別・年齢別】





年齢別で比較すると、「家庭内の人間関係・経済的な安定」では30～39歳で回答した人の割合が70.9%と高くなっている。また、「学校での人権教育・道徳教育の推進」と回答した人の割合は、年齢が高くなるにつれて高くなる傾向にある。